

令和6年度

市政モニターアンケート調査結果
【住環境の状況と経済再生・定住人口増加に関するまちづくりの市民意向について】



長 崎 市
都市計画課

1. 調査の目的

本市の「経済再生」と「定住人口増加」に向けて、まちづくりの具体的な方向性を示す「長崎まちづくりのランドデザイン」を策定することとしています。

今回、現在の市民の住環境の状況や経済再生・定住人口増加に関するまちづくりの市民意向を調査し、ランドデザイン策定の参考とするため調査を行いました。

2. 調査の概要

調査期間：令和6年7月29日 ～ 令和6年8月13日

送付数：270人

回答率：93.0%（251人）

（郵送回答 156人 インターネット回答 95人）

3. 調査結果

【住環境の満足度について】

現在の住環境について、とても満足とやや満足の割合で見ると、「治安のよさ」、「車での移動のしやすさ」、「緑の豊かさなどの自然環境」の順に満足度が高く、「土砂災害などの災害への強さ」、「公園や広場などの子育て環境」、「公共交通での移動のしやすさ」の順に満足度が低いことがわかりました。

また、5年前と比較した住環境の満足度について、「公共交通での移動のしやすさ」が大きく低下していることや「日常生活に必要なサービスの利用のしやすさ」が一定向上していることがわかりました。

【移動目的ごとの主な移動手段について】

公共交通機関の利用は、「通勤・通学」が最も多く、次に「通院」に多いことがわかりました。また、自家用車の利用は、「観光・行楽・レジャー」が最も多く、次に食品・日用品などの買い物時に多いことがわかりました。さらに、年代別に見ると20～50代は、「通勤・通学」の際に公共交通機関を最も利用しており、60代以降の世代は、「通院」や「観光・行楽・レジャー」、「塾・習い事・学習」の際に公共交通機関の利用が多いことがわかりました。

【外出頻度と外出したくなる取組みについて】

平日の外出頻度は、年代が上がるごとに減少していく傾向があることがわかりました。一方、休日の外出頻度は、20代よりも30～40代の外出頻度が高く、50代以降は年代が上がることに減少していく傾向があることがわかりました。

また、外出したくなる取組みについて、全世代共通してニーズに合った魅力的なイ

イベントの開催が多いことがわかりました。さらに、世代ごとに見ると、20代は公共交通機関の無料デーの開催や利便性向上、30～40代の子育て世代については、親子で楽しめる場所や施設があることや駐車場の十分な確保や駐車料金の低廉化、交通渋滞の解消、50代以降は公共交通機関の利便性向上やベンチなどの休憩場所についての言及が多くあることや、イベント開催などの情報が手軽に得られれば、外出したくなるということがわかりました。

【長崎市の賑わいや活力を持続・発展するための取組みについて】

賑わいや活力を持続・発展するために、特に「公共交通機関などの移動の足の確保」や「道路交通網の整備など車の移動円滑化」、「生活サービス施設の確保」といった都市基盤に関することをとても重要と感じている方が多いことがわかりました。

【若者・子育て世帯が住みたくなるまち、高齢者が住みやすく安心して暮らしていくまちとなるための取組みについて】

若者が住みたくなるまちとなるためには、「余暇や趣味を楽しめる場所や施設の充実」や「多様な働き方ができる環境が整っている」を選択された方が多く、休日の過ごし方やニーズに合った働き方の実現を重要視されている方が多いことがわかりました。続いて、「公共交通機関の利便性の確保」や「食事や買い物ができるお店の充実」、「公園や広場など子育て環境の充実」といったまちの利便性に関することが重要視されており、若者が住みたくなるまちとなるためには、ニーズに合った過ごし方・働き方の実現と併せてまちの利便性を向上されていくことが重要であることがわかりました。

子育て世帯が住みたくなるまちとなるためには、「公園や広場など子育て環境の充実」や「治安が良い」、「多様な働き方ができる環境が整っている」を選択された方が多く、子育て環境はもちろんワーク・ライフ・バランスを実現するために多様な働き方の実現が重要視されている方が多いことがわかりました。

高齢者が住みよく安心して暮らしていくまちとなるためには、「公共交通機関の利便性の確保」が突出して多く、多くの方が高齢者の日常生活の移動の足の確保を重視していることがわかりました。

今回把握できた住環境の満足度や経済再生と定住人口増加に向けたまちづくりの市民意向を基に、長崎まちづくりのランドデザインの検討を進めてまいります。

4. 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100パーセントに合致しない場合があります。

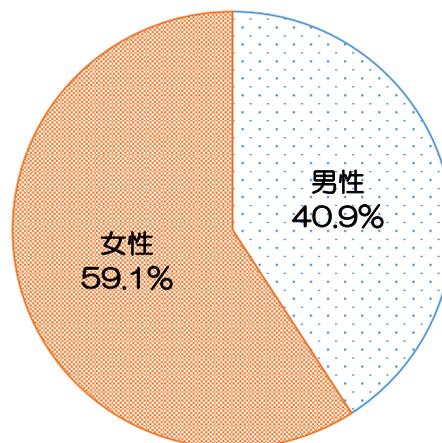
また、複数回答可とした設問においては、合計が100パーセントを上回る場合があります。

なお、回答者数の異なる間については、回答者の数を「N=〇〇人」で表現しています。

問1 あなたの性別をお答えください。

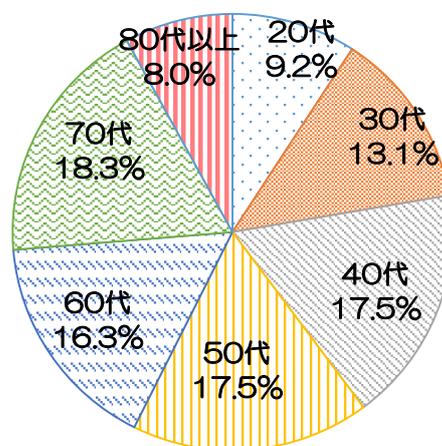
選択肢	回答者数	割合
男性	101人	40.9%
女性	146人	59.1%
合計	247人	100.0%

(無回答4人)



問2 あなたの年齢を選択してください。

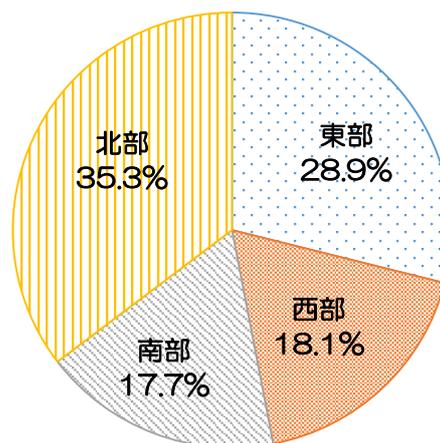
選択肢	回答者数	割合
20代	23人	9.2%
30代	33人	13.1%
40代	44人	17.5%
50代	44人	17.5%
60代	41人	16.3%
70代	46人	18.3%
80代以上	20人	8.0%
合計	251人	100.0%



問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	72人	28.9%
西部	45人	18.1%
南部	44人	17.7%
北部	88人	35.3%
合計	249人	100.0%

(無回答2人)

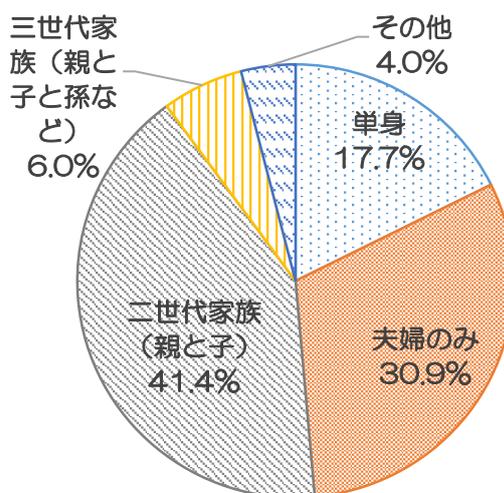


※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

問 12 家族構成を教えてください。(当てはまるものを1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
単身	44人	17.7%
夫婦のみ	77人	30.9%
二世世代家族 (親と子)	103人	41.4%
三世世代家族 (親と子と孫など)	15人	6.0%
その他	10人	4.0%
合計	249人	100.0%

(無回答2人)

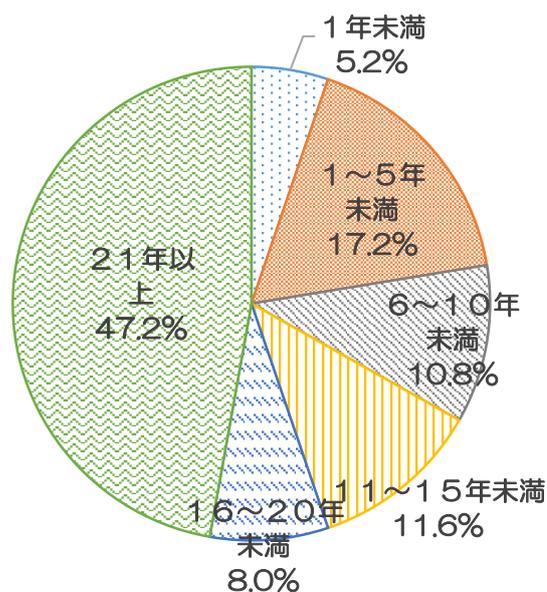


問 13 現在のお住まいにおける居住年数を教えてください。

(当てはまるものを1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
1年未満	13人	5.2%
1～5年未満	43人	17.2%
6～10年未満	27人	10.8%
11～15年未満	29人	11.6%
16～20年未満	20人	8.0%
21年以上	118人	47.2%
合計	250人	100.0%

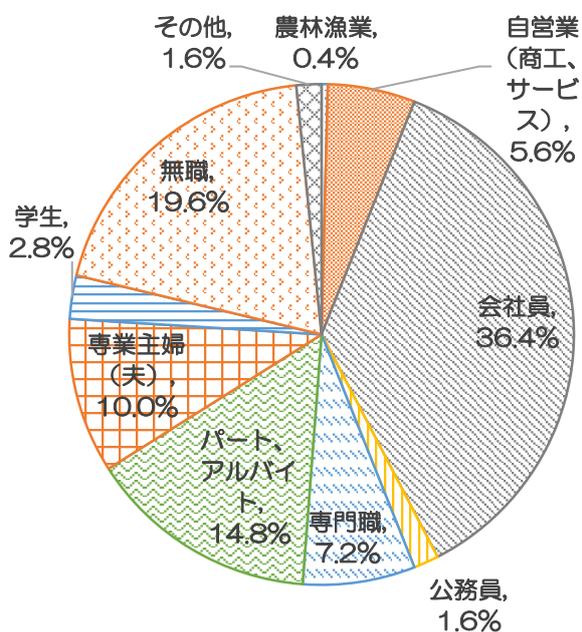
(無回答1人)



問 14 あなたのご職業を教えてください。

(当てはまるものを1つ回答。兼業されている方は主な収入源となっている職業を選択。)

選択肢	回答者数	割合
農林漁業	1人	0.4%
自営業 (商工、サービス)	14人	5.6%
会社員	91人	36.4%
公務員	4人	1.6%
専門職*	18人	7.2%
パート、アルバイト	37人	14.8%
専業主婦(夫)	25人	10.0%
学生	7人	2.8%
無職	49人	19.6%
その他	4人	1.6%
合計	250人	100.0%

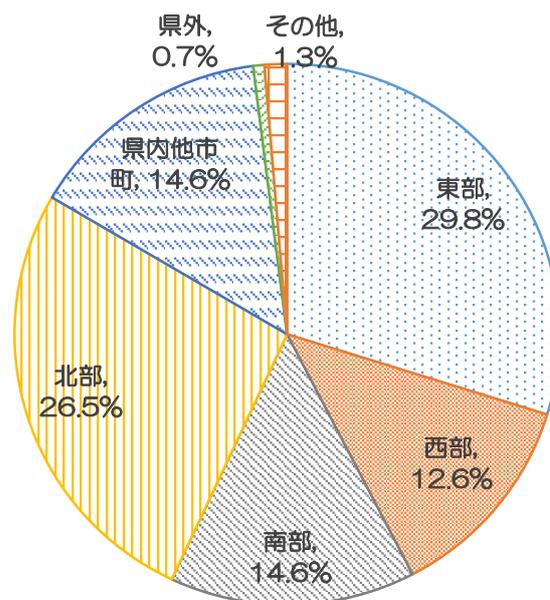


(無回答1人)

※専門職：医師、薬剤師、看護師、弁護士、税理士など

問 15 「問 14」で「3 会社員」、「4 公務員」、「5 専門職(専門職(医師・弁護士など))」、「6 パート、アルバイト」、「8 学生」を選ばれた方は、通勤・通学地の町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	45人	29.8%
西部	19人	12.6%
南部	22人	14.6%
北部	40人	26.5%
県内各市町	22人	14.6%
県外	1人	0.7%
その他	2人	1.3%
合計	151人	100.0%



(回答者数 157 人、有効回答数 151)

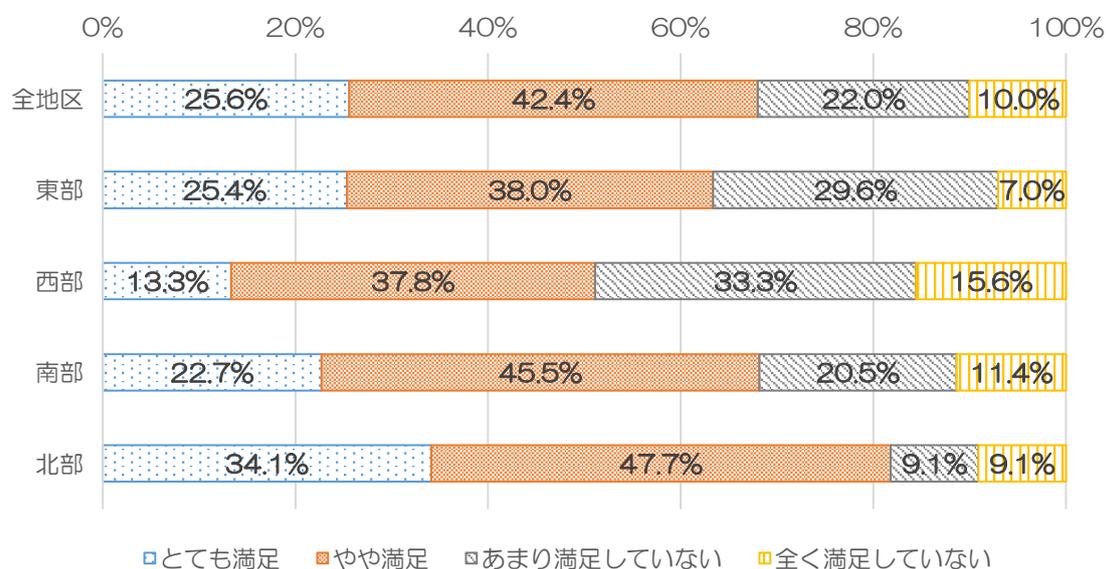
問 16 現在のあなたの住環境について、次の項目ごとに、満足度を教えてください。（それぞれ当てはまるものを1つ回答）

【公共交通の運行本数・路線、自宅から停留所までの距離など、公共交通での移動のしやすさ】

（地区別割合）

地区	項目	選択肢				合計
		とても満足	やや満足	あまり満足していない	全く満足していない	
全地区	回答者数	64人	106人	55人	25人	250
	割合	25.6%	42.4%	22.0%	10.0%	100.0%
東部	回答者数	18人	27人	21人	5人	71
	割合	25.4%	38.0%	29.6%	7.0%	100.0%
西部	回答者数	6人	17人	15人	7人	45
	割合	13.3%	37.8%	33.3%	15.6%	100.0%
南部	回答者数	10人	20人	9人	5人	44
	割合	22.7%	45.5%	20.5%	11.4%	100.0%
北部	回答者数	30人	42人	8人	8人	88
	割合	34.1%	47.7%	9.1%	9.1%	100.0%

（無回答1人）

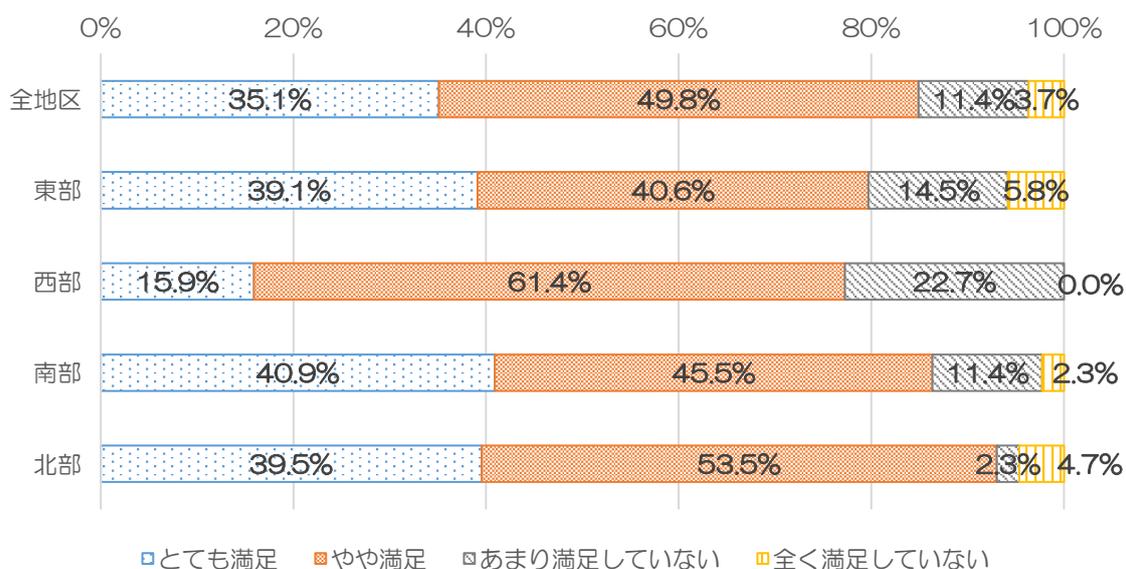


【車での移動のしやすさ】

(地区別割合)

地区	項目	選択肢				合計
		とても満足	やや満足	あまり満足していない	全く満足していない	
全地区	回答者数	86人	122人	28人	9人	245人
	割合	35.1%	49.8%	11.4%	3.7%	100.0%
東部	回答者数	27人	28人	10人	4人	69人
	割合	39.1%	40.6%	14.5%	5.8%	100.0%
西部	回答者数	7人	27人	10人	0人	44人
	割合	15.9%	61.4%	22.7%	0.0%	100.0%
南部	回答者数	18人	20人	5人	1人	44人
	割合	40.9%	45.5%	11.4%	2.3%	100.0%
北部	回答者数	34人	46人	2人	4人	86人
	割合	39.5%	53.5%	2.3%	4.7%	100.0%

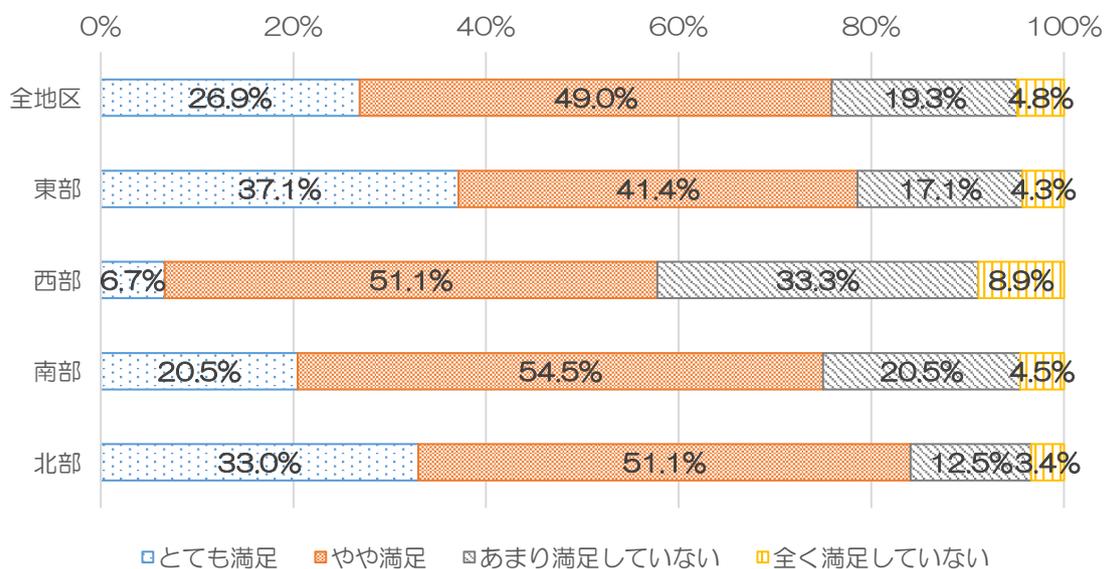
(無回答6人)



【商業施設や医療施設など、日常生活に必要なサービスの利用のしやすさ】
 (地区別割合)

地区	項目	選択肢				合計
		とても満足	やや満足	あまり満足していない	全く満足していない	
全地区	回答者数	67人	122人	48人	12人	249人
	割合	26.9%	49.0%	19.3%	4.8%	100.0%
東部	回答者数	26人	29人	12人	3人	70人
	割合	37.1%	41.4%	17.1%	4.3%	100.0%
西部	回答者数	3人	23人	15人	4人	45人
	割合	6.7%	51.1%	33.3%	8.9%	100.0%
南部	回答者数	9人	24人	9人	2人	44人
	割合	20.5%	54.5%	20.5%	4.5%	100.0%
北部	回答者数	29人	45人	11人	3人	88人
	割合	33.0%	51.1%	12.5%	3.4%	100.0%

(無回答2人)

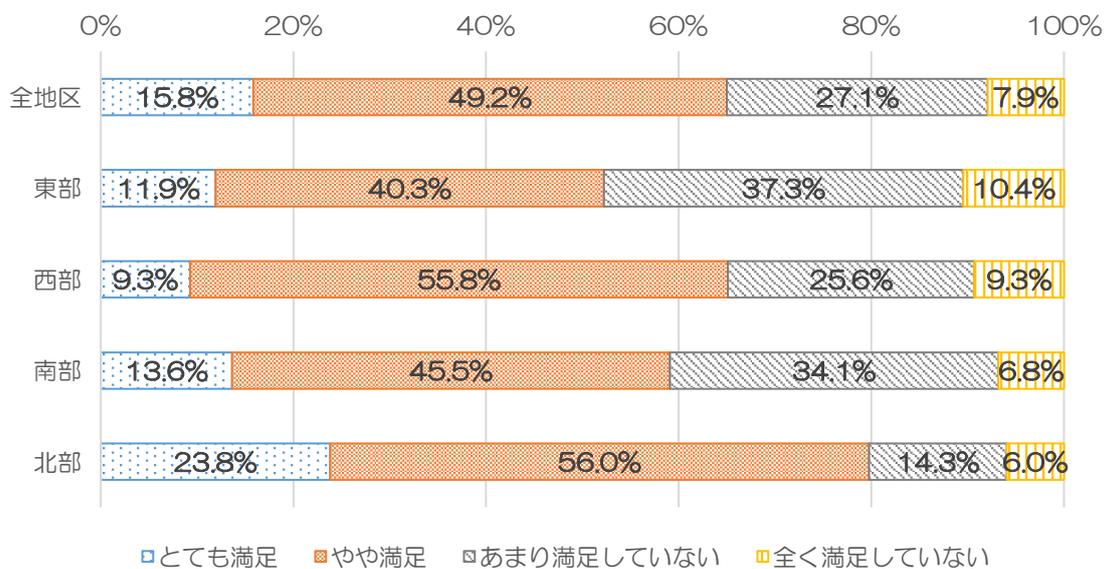


【公園や広場などの子育て環境】

(地区別割合)

地区	項目	選択肢				合計
		とても満足	やや満足	あまり満足していない	全く満足していない	
全地区	回答者数	38人	118人	65人	19人	240人
	割合	15.8%	49.2%	27.1%	7.9%	100.0%
東部	回答者数	8人	27人	25人	7人	67人
	割合	11.9%	40.3%	37.3%	10.4%	100.0%
西部	回答者数	4人	24人	11人	4人	43人
	割合	9.3%	55.8%	25.6%	9.3%	100.0%
南部	回答者数	6人	20人	15人	3人	44人
	割合	13.6%	45.5%	34.1%	6.8%	100.0%
北部	回答者数	20人	47人	12人	5人	84人
	割合	23.8%	56.0%	14.3%	6.0%	100.0%

(無回答 11人)

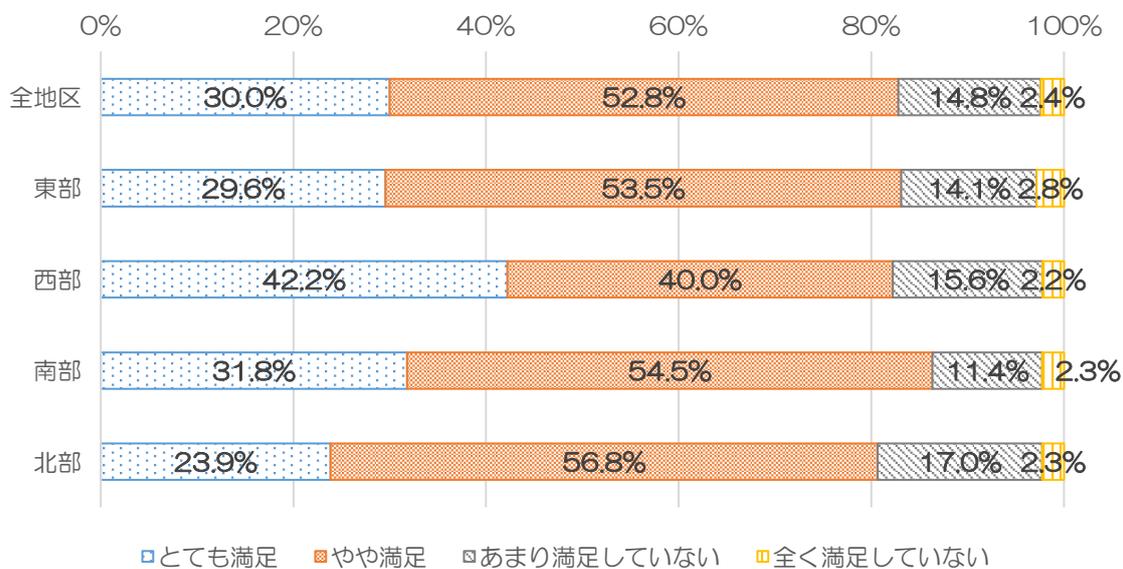


【緑の豊かさなどの自然環境】

(地区別割合)

地区	項目	選択肢				合計
		とても満足	やや満足	あまり満足していない	全く満足していない	
全地区	回答者数	75人	132人	37人	6人	250人
	割合	30.0%	52.8%	14.8%	2.4%	100.0%
東部	回答者数	21人	38人	10人	2人	71人
	割合	29.6%	53.5%	14.1%	2.8%	100.0%
西部	回答者数	19人	18人	7人	1人	45人
	割合	42.2%	40.0%	15.6%	2.2%	100.0%
南部	回答者数	14人	24人	5人	1人	44人
	割合	31.8%	54.5%	11.4%	2.3%	100.0%
北部	回答者数	21人	50人	15人	2人	88人
	割合	23.9%	56.8%	17.0%	2.3%	100.0%

(無回答1人)

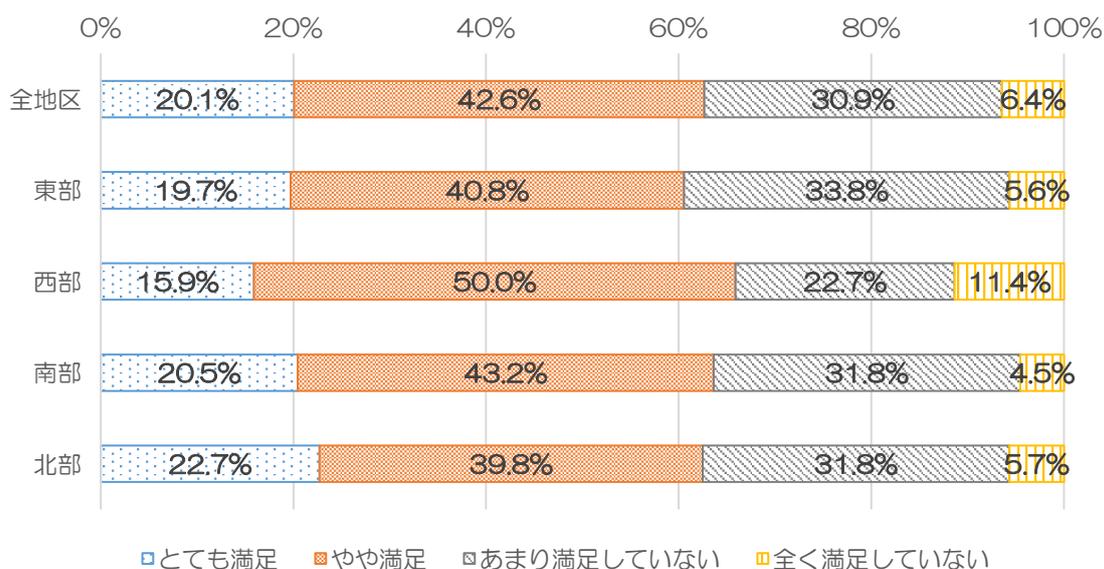


【土砂災害などの災害への強さ】

(地区別割合)

地区	項目	選択肢				合計
		とても満足	やや満足	あまり満足していない	全く満足していない	
全地区	回答者数	50人	106人	77人	16人	249人
	割合	20.1%	42.6%	30.9%	6.4%	100.0%
東部	回答者数	14人	29人	24人	4人	71人
	割合	19.7%	40.8%	33.8%	5.6%	100.0%
西部	回答者数	7人	22人	10人	5人	44人
	割合	15.9%	50.0%	22.7%	11.4%	100.0%
南部	回答者数	9人	19人	14人	2人	44人
	割合	20.5%	43.2%	31.8%	4.5%	100.0%
北部	回答者数	20人	35人	28人	5人	88人
	割合	22.7%	39.8%	31.8%	5.7%	100.0%

(無回答2人)

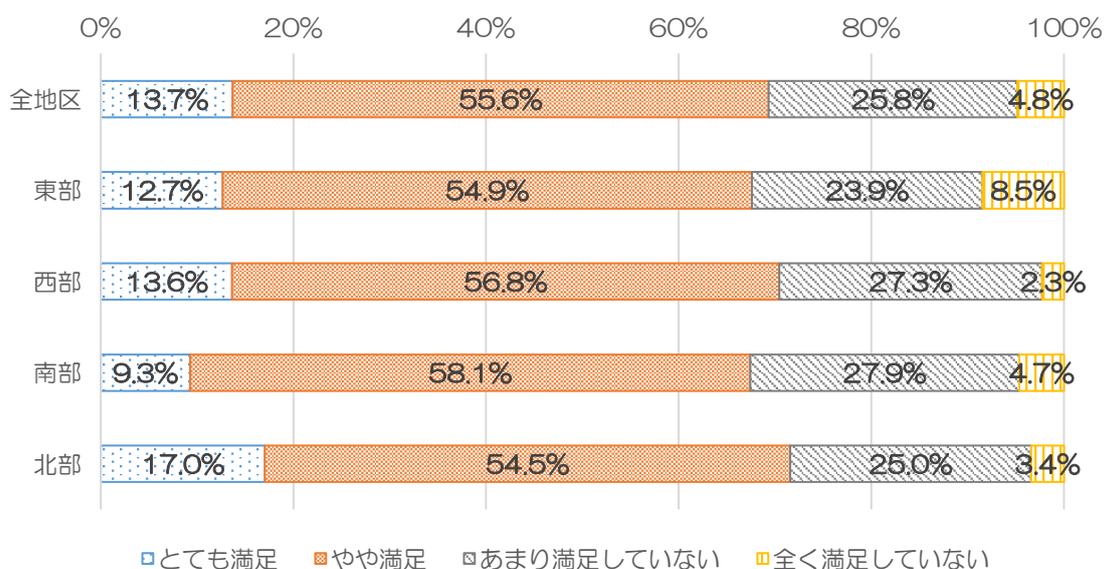


【住民同士のふれあいが多いなど、地域のコミュニティ】

(地区別割合)

地区	項目	選択肢				合計
		とても満足	やや満足	あまり満足していない	全く満足していない	
全地区	回答者数	34人	138人	64人	12人	248人
	割合	13.7%	55.6%	25.8%	4.8%	100.0%
東部	回答者数	9人	39人	17人	6人	71人
	割合	12.7%	54.9%	23.9%	8.5%	100.0%
西部	回答者数	6人	25人	12人	1人	44人
	割合	13.6%	56.8%	27.3%	2.3%	100.0%
南部	回答者数	4人	25人	12人	2人	43人
	割合	9.3%	58.1%	27.9%	4.7%	100.0%
北部	回答者数	15人	48人	22人	3人	88人
	割合	17.0%	54.5%	25.0%	3.4%	100.0%

(無回答3人)

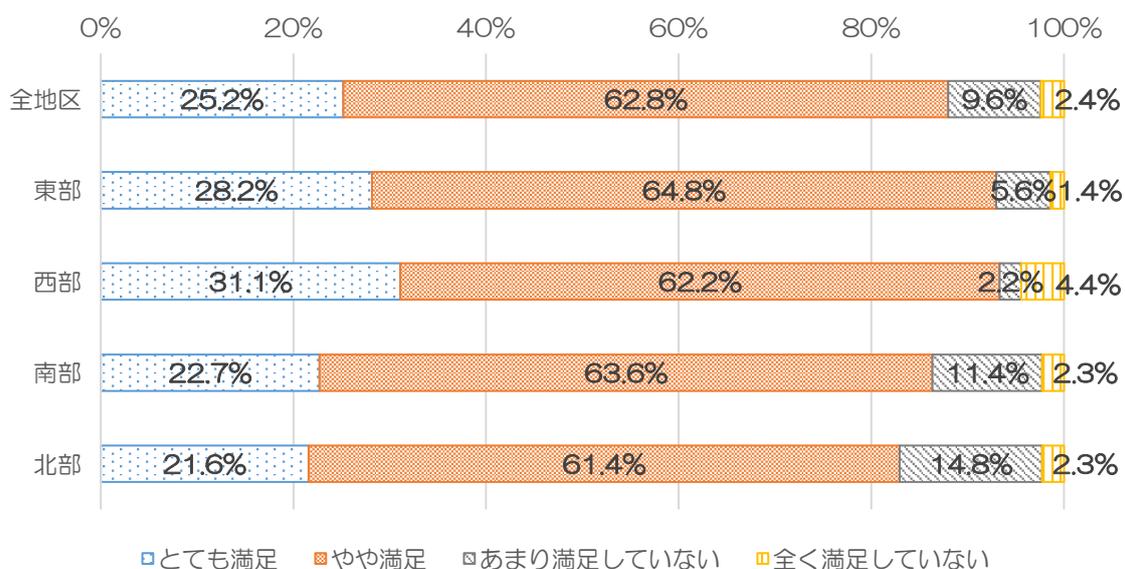


【治安のよさ】

(地区別割合)

地区	項目	選択肢				合計
		とても満足	やや満足	あまり満足していない	全く満足していない	
全地区	回答者数	63人	157人	24人	6人	250人
	割合	25.2%	62.8%	9.6%	2.4%	100.0%
東部	回答者数	20人	46人	4人	1人	71人
	割合	28.2%	64.8%	5.6%	1.4%	100.0%
西部	回答者数	14人	28人	1人	2人	45人
	割合	31.1%	62.2%	2.2%	4.4%	100.0%
南部	回答者数	10人	28人	5人	1人	44人
	割合	22.7%	63.6%	11.4%	2.3%	100.0%
北部	回答者数	19人	54人	13人	2人	88人
	割合	21.6%	61.4%	14.8%	2.3%	100.0%

(無回答 1人)



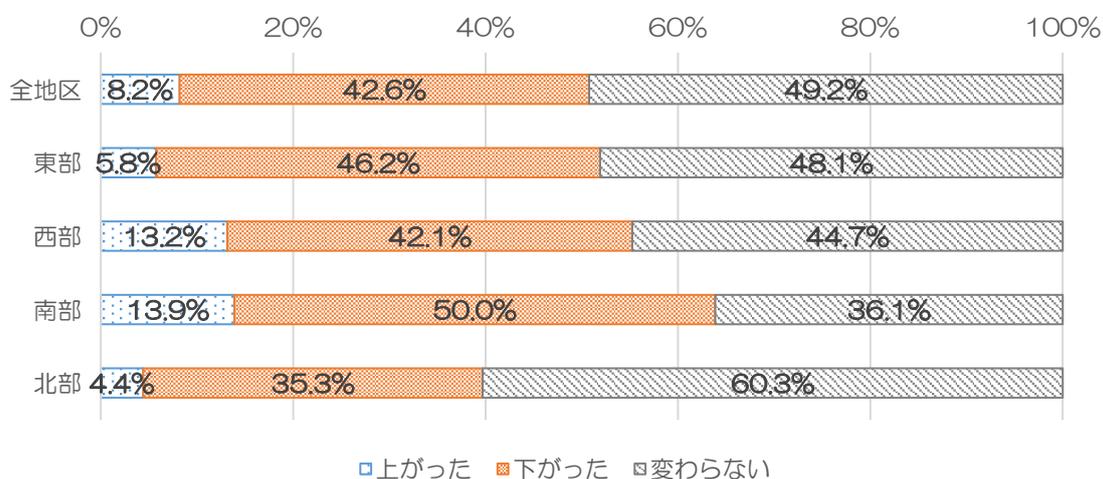
現在の住環境について、とても満足とやや満足の割合で見ると、「治安のよさ（88.0%）」、「車での移動のしやすさ（84.9%）」、「緑の豊かさなどの自然環境（82.8%）」の順に満足度が高く、「土砂災害などの災害への強さ（62.7%）」、「公園や広場などの子育て環境（65.0%）」、「公共交通での移動のしやすさ（68.0%）」の順に満足度が低いことがわかりました。

また、西部地区は、「公共交通での移動のしやすさ」や「車での移動のしやすさ」、「日常生活に必要なサービスの利用のしやすさ」の満足度が地区全体と比べて低い一方、「緑の豊かさなどの自然環境」や「治安のよさ」の満足度が高いことがわかりました。

問 17 現在のお住まいに5年以上居住されている方にご質問です。現在のあなたの住環境に関する満足度が5年前と比較してどう変わったか、次の項目ごとに、満足度の変化を教えてください。
 (それぞれ当てはまるものを1つ回答)

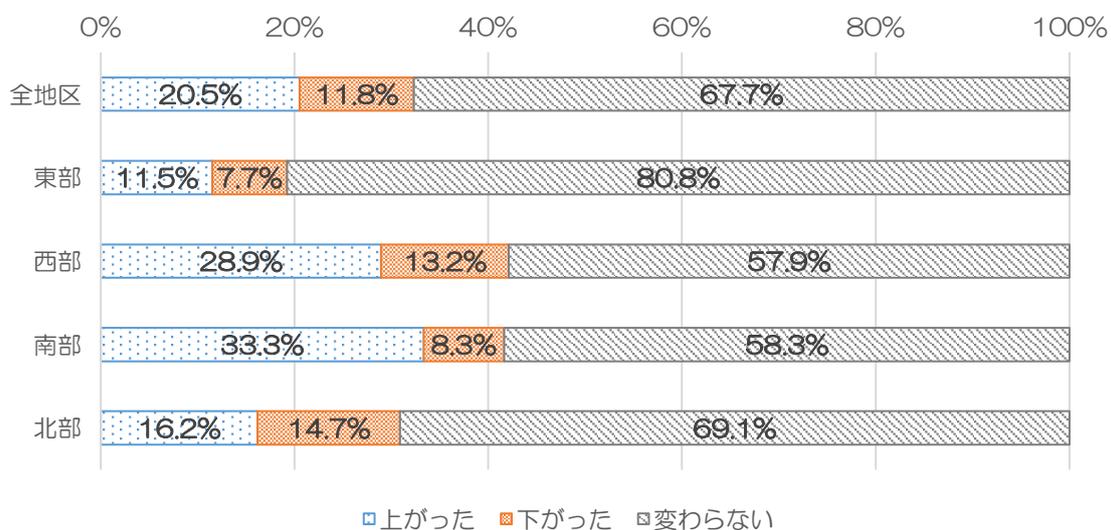
【公共交通の運行本数・路線、自宅から停留所までの距離など、公共交通での移動のしやすさ】
 (地区別割合)

地区	項目	選択肢			合計
		上がった	下がった	変わらない	
全地区	回答者数	16人	83人	96人	195人
	割合	8.2%	42.6%	49.2%	100.0%
東部	回答者数	3人	24人	25人	52人
	割合	5.8%	46.2%	48.1%	100.0%
西部	回答者数	5人	16人	17人	38人
	割合	13.2%	42.1%	44.7%	100.0%
南部	回答者数	5人	18人	13人	36人
	割合	13.9%	50.0%	36.1%	100.0%
北部	回答者数	3人	24人	41人	68人
	割合	4.4%	35.3%	60.3%	100.0%



【商業施設や医療施設など、日常生活に必要なサービスの利用のしやすさ】
 (地区別割合)

地区	項目	選択肢			合計
		上がった	下がった	変わらない	
全地区	回答者数	40人	23人	132人	195人
	割合	20.5%	11.8%	67.7%	100.0%
東部	回答者数	6人	4人	42人	52人
	割合	11.5%	7.7%	80.8%	100.0%
西部	回答者数	11人	5人	22人	38人
	割合	28.9%	13.2%	57.9%	100.0%
南部	回答者数	12人	3人	21人	36人
	割合	33.3%	8.3%	58.3%	100.0%
北部	回答者数	11人	10人	47人	68人
	割合	16.2%	14.7%	69.1%	100.0%

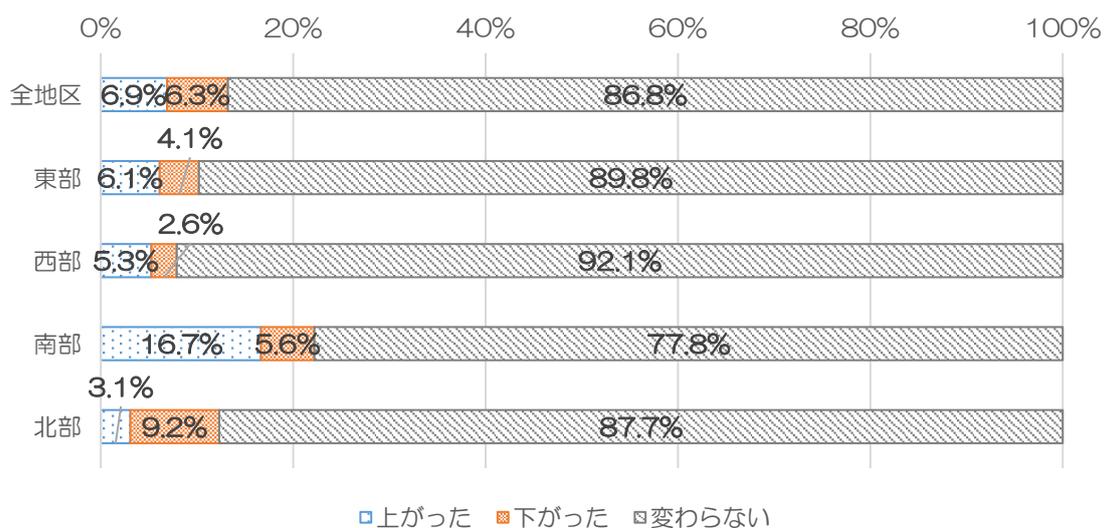


【公園や広場などの子育て環境】

(地区別割合)

地区	項目	選択肢			合計
		上がった	下がった	変わらない	
全地区	回答者数	13人	12人	164人	189人
	割合	6.9%	6.3%	86.8%	100.0%
東部	回答者数	3人	2人	44人	49人
	割合	6.1%	4.1%	89.8%	100.0%
西部	回答者数	2人	1人	35人	38人
	割合	5.3%	2.6%	92.1%	100.0%
南部	回答者数	6人	2人	28人	36人
	割合	16.7%	5.6%	77.8%	100.0%
北部	回答者数	2人	6人	57人	65人
	割合	3.1%	9.2%	87.7%	100.0%

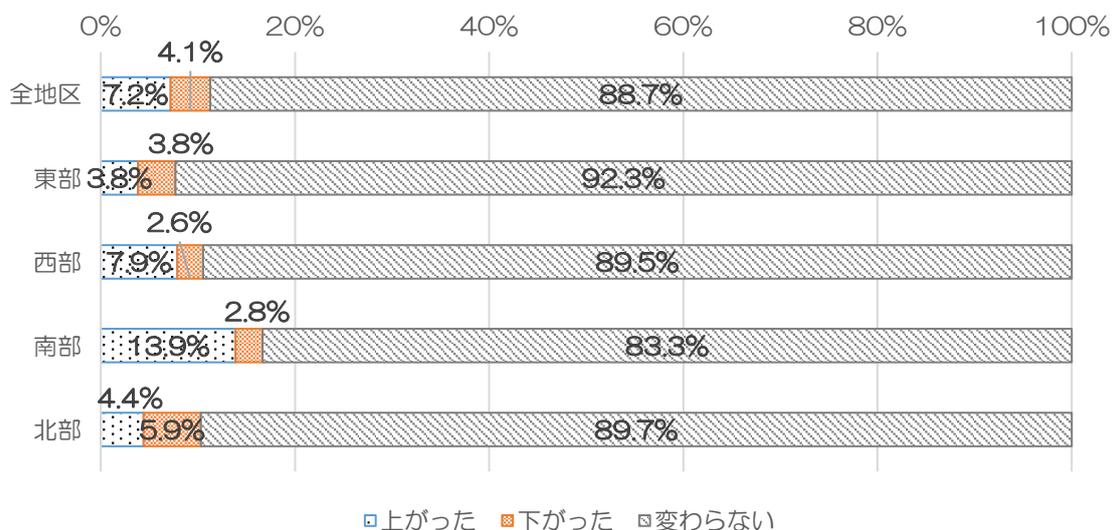
(無回答 6人)



【緑の豊かさなどの自然環境】

(地区別割合)

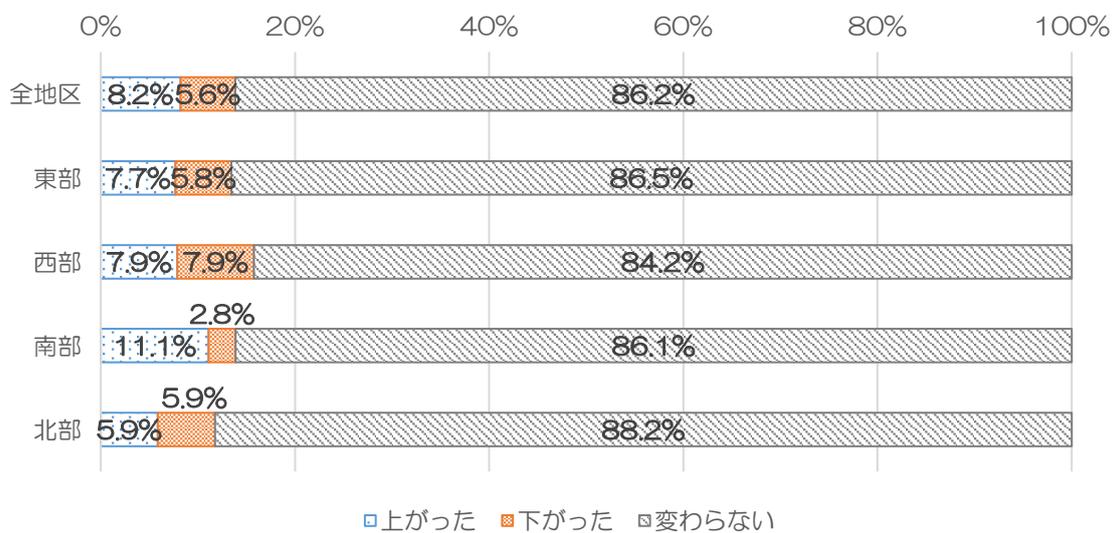
地区	項目	選択肢			合計
		上がった	下がった	変わらない	
全地区	回答者数	14人	8人	173人	195人
	割合	7.2%	4.1%	88.7%	100.0%
東部	回答者数	2人	2人	48人	52人
	割合	3.8%	3.8%	92.3%	100.0%
西部	回答者数	3人	1人	34人	38人
	割合	7.9%	2.6%	89.5%	100.0%
南部	回答者数	5人	1人	30人	36人
	割合	13.9%	2.8%	83.3%	100.0%
北部	回答者数	3人	4人	61人	68人
	割合	4.4%	5.9%	89.7%	100.0%



【土砂災害などの災害への強さ】

(地区別割合)

地区	項目	選択肢			合計
		上がった	下がった	変わらない	
全地区	回答者数	16人	11人	168人	195人
	割合	8.2%	5.6%	86.2%	100.0%
東部	回答者数	4人	3人	45人	52人
	割合	7.7%	5.8%	86.5%	100.0%
西部	回答者数	3人	3人	32人	38人
	割合	7.9%	7.9%	84.2%	100.0%
南部	回答者数	4人	1人	31人	36人
	割合	11.1%	2.8%	86.1%	100.0%
北部	回答者数	4人	4人	60人	68人
	割合	5.9%	5.9%	88.2%	100.0%

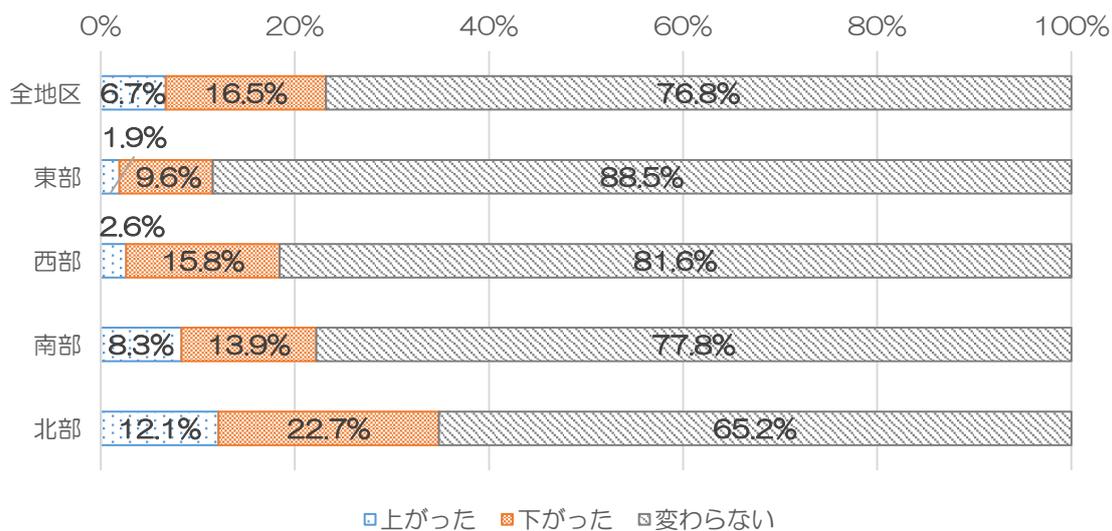


【住民同士のふれあいが多いなど、地域のコミュニティ】

(地区別割合)

地区	項目	選択肢			合計
		上がった	下がった	変わらない	
全地区	回答者数	13人	32人	149人	194人
	割合	6.7%	16.5%	76.8%	100.0%
東部	回答者数	1人	5人	46人	52人
	割合	1.9%	9.6%	88.5%	100.0%
西部	回答者数	1人	6人	31人	38人
	割合	2.6%	15.8%	81.6%	100.0%
南部	回答者数	3人	5人	28人	36人
	割合	8.3%	13.9%	77.8%	100.0%
北部	回答者数	8人	15人	43人	66人
	割合	12.1%	22.7%	65.2%	100.0%

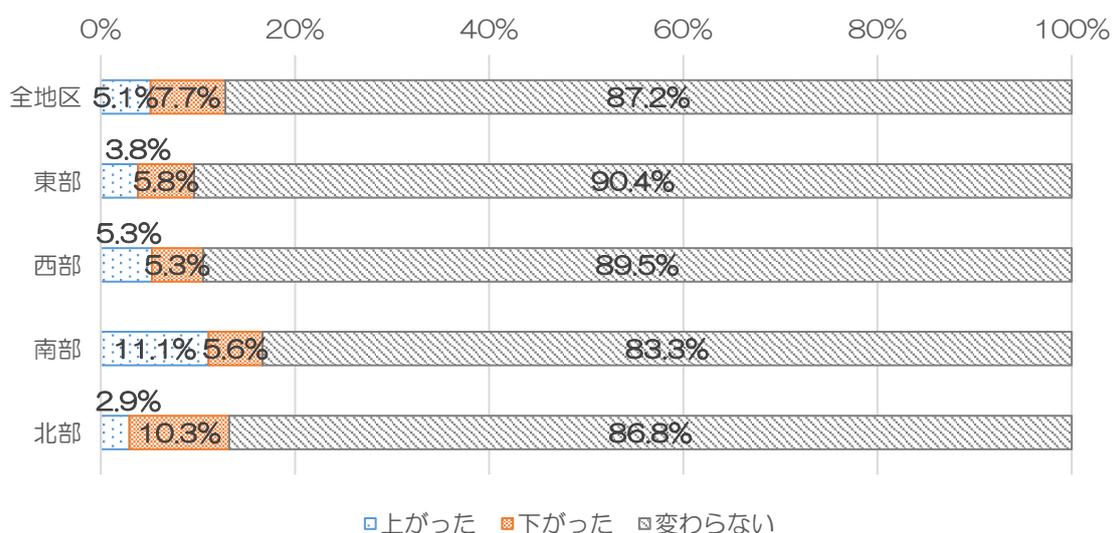
(無回答1人)



【治安のよさ】

(地区別割合)

地区	項目	選択肢			合計
		上がった	下がった	変わらない	
全地区	回答者数	10人	15人	170人	195人
	割合	5.1%	7.7%	87.2%	100.0%
東部	回答者数	2人	3人	47人	52人
	割合	3.8%	5.8%	90.4%	100.0%
西部	回答者数	2人	2人	34人	38人
	割合	5.3%	5.3%	89.5%	100.0%
南部	回答者数	4人	2人	30人	36人
	割合	11.1%	5.6%	83.3%	100.0%
北部	回答者数	2人	7人	59人	68人
	割合	2.9%	10.3%	86.8%	100.0%



5年前と比較した住環境の満足度について、「公共交通での移動のしやすさ」が下がったと回答された方が42.6%と、満足度が大きく低下していることがわかりました。その他の住環境について、満足度は変わらないと回答された方が多数であるものの、「日常生活に必要なサービスの利用のしやすさ」が上がったと回答された方が20.5%と、満足度が一定向上していることがわかりました。

問 18 次の移動目的ごとに、主な交通手段を教えてください。

(それぞれ当てはまるものを1つ回答)

【通勤・通学】

選択肢	回答者数	割合
バス・タクシー	44人	22.8%
路面電車	10人	5.2%
鉄道(JR)	3人	1.6%
自家用車(ご自身が運転)	76人	39.4%
自家用車(家族等による送迎)	8人	4.1%
自転車	1人	0.5%
バイク	13人	6.7%
徒歩	36人	18.7%
その他	2人	1.0%
合計	193人	100.0%

(無回答 25人、通勤・通学のために移動しない 26人、有効回答数 219)

【食料品・日用品などの買物】

選択肢	回答者数	割合
バス・タクシー	16人	6.8%
路面電車	10人	4.2%
鉄道(JR)	0人	0.0%
自家用車(ご自身が運転)	131人	55.3%
自家用車(家族等による送迎)	21人	8.9%
自転車	2人	0.8%
バイク	12人	5.1%
徒歩	45人	19.0%
その他	0人	0.0%
合計	237人	100.0%

(無回答 1名、食料品・日用品などの買物のため移動しない 0人、有効回答数 237)

【通院】

選択肢	回答者数	割合
バス・タクシー	37人	15.7%
路面電車	16人	6.8%
鉄道（JR）	0人	0.0%
自家用車（ご自身が運転）	121人	51.5%
自家用車（家族等による送迎）	12人	5.1%
自転車	1人	0.4%
バイク	11人	4.7%
徒歩	36人	15.3%
その他	1人	0.4%
合計	235人	100.0%

（無回答 0人、通院のために移動しない 3人、有効回答数 238）

【観光・行楽・レジャー】

選択肢	回答者数	割合
バス・タクシー	29人	12.6%
路面電車	8人	3.5%
鉄道（JR）	10人	4.3%
自家用車（ご自身が運転）	126人	54.5%
自家用車（家族等による送迎）	50人	21.6%
自転車	0人	0.0%
バイク	2人	0.9%
徒歩	2人	0.9%
その他	4人	1.7%
合計	231人	100.0%

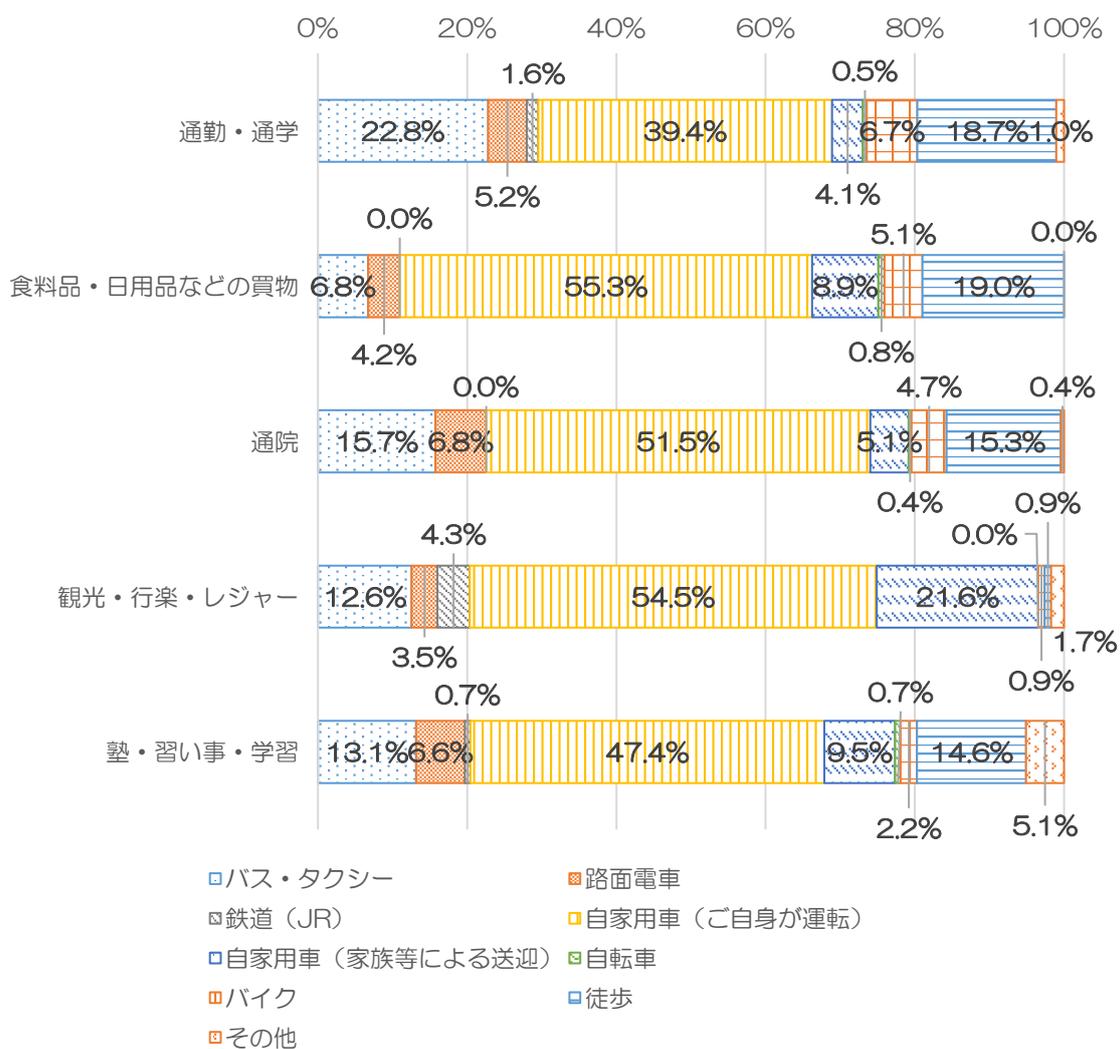
（無回答 1人、観光・行楽・レジャーのために移動しない 12人、有効回答数 243）

【塾・習い事・学習】

選択肢	回答者数	割合
バス・タクシー	18人	13.1%
路面電車	9人	6.6%
鉄道（JR）	1人	0.7%
自家用車（ご自身が運転）	65人	47.4%
自家用車（家族等による送迎）	13人	9.5%
自転車	1人	0.7%
バイク	3人	2.2%
徒歩	20人	14.6%
その他	7人	5.1%
合計	137人	100.0%

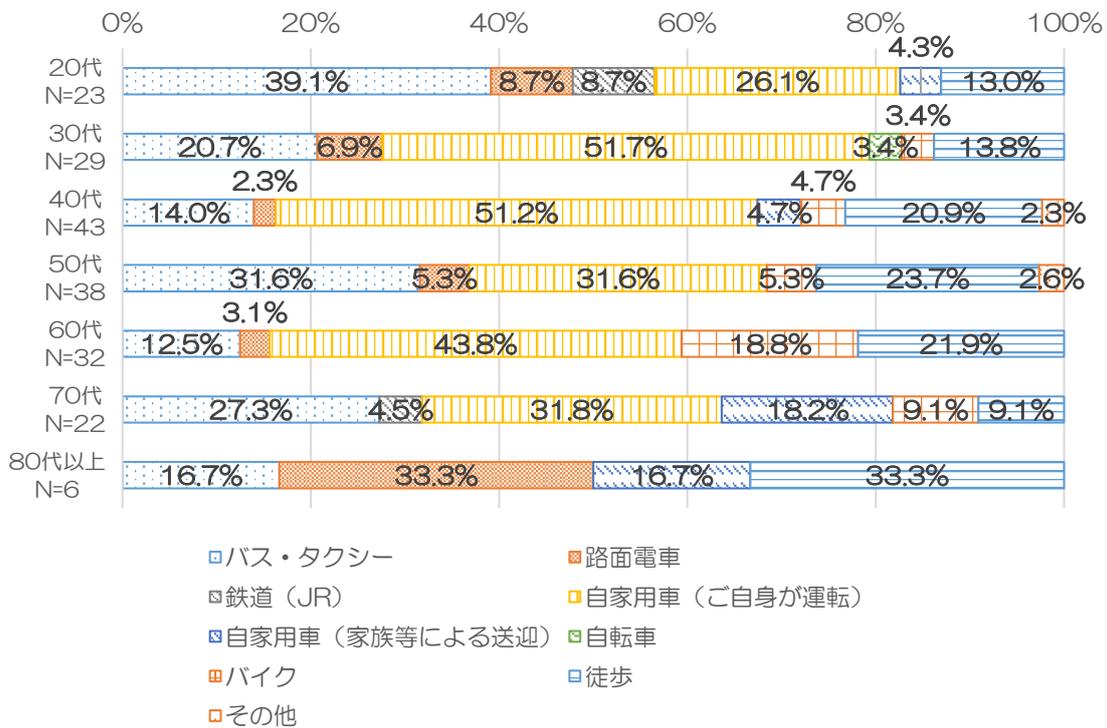
（無回答 35 人、塾・習い事・学習のために移動しない 74 人、有効回答数 211）

（移動目的別割合）

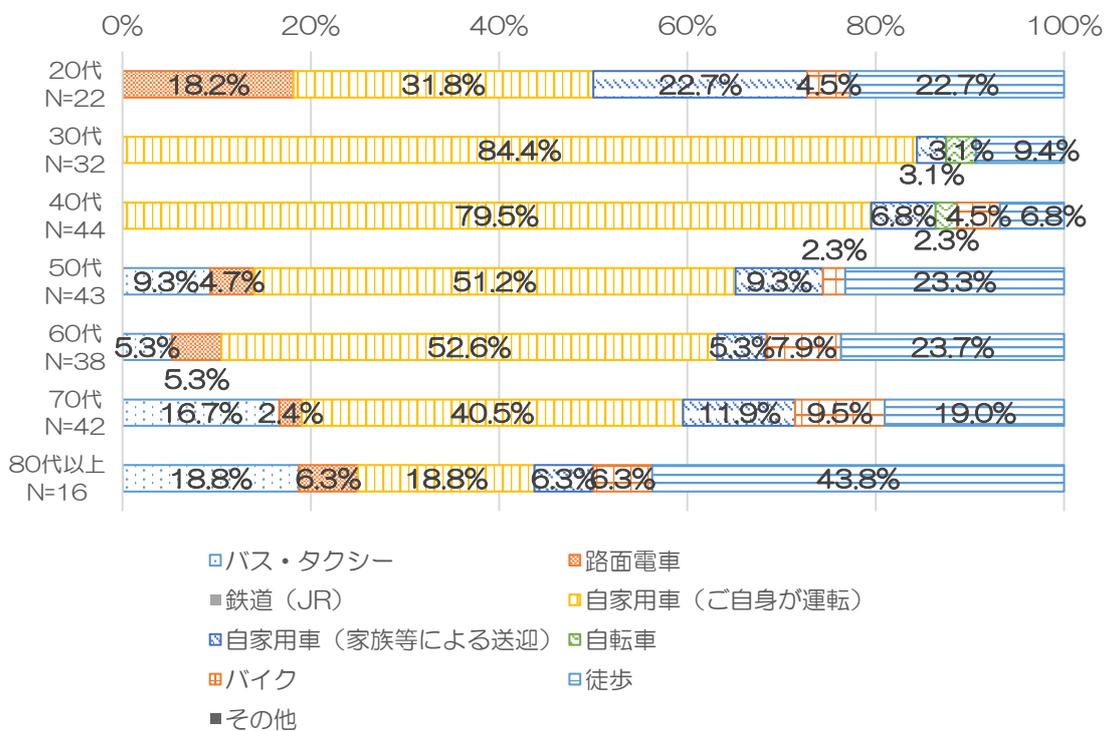


(移動目的別年代別割合)

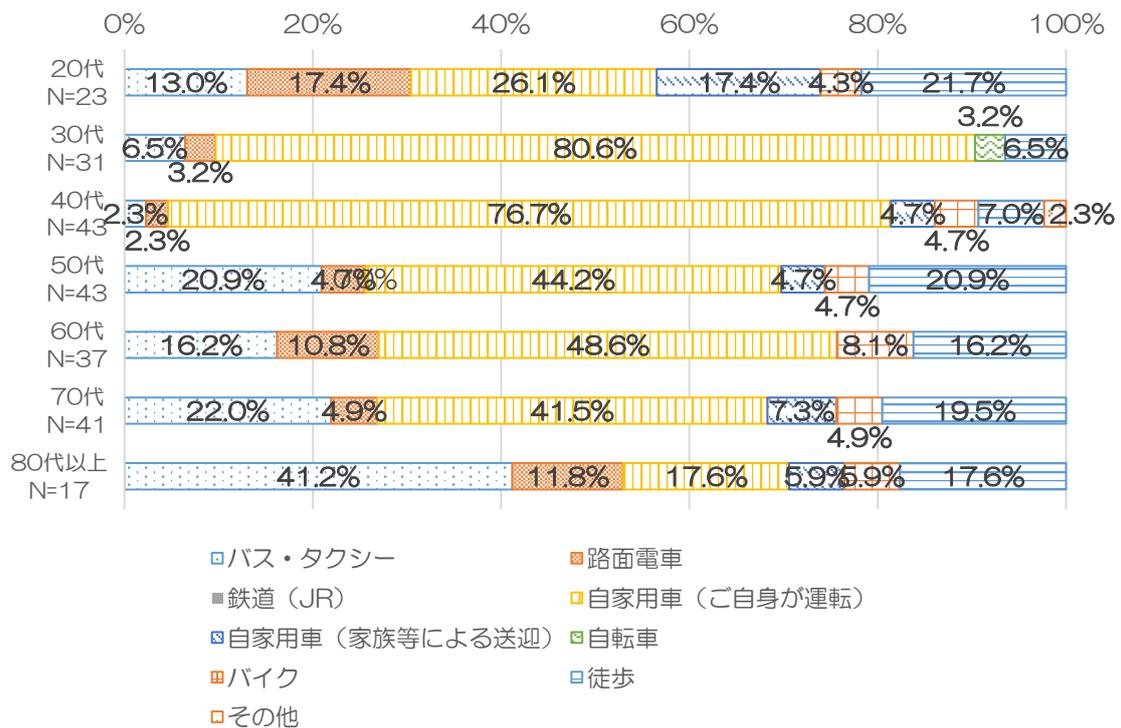
【通勤・通学】



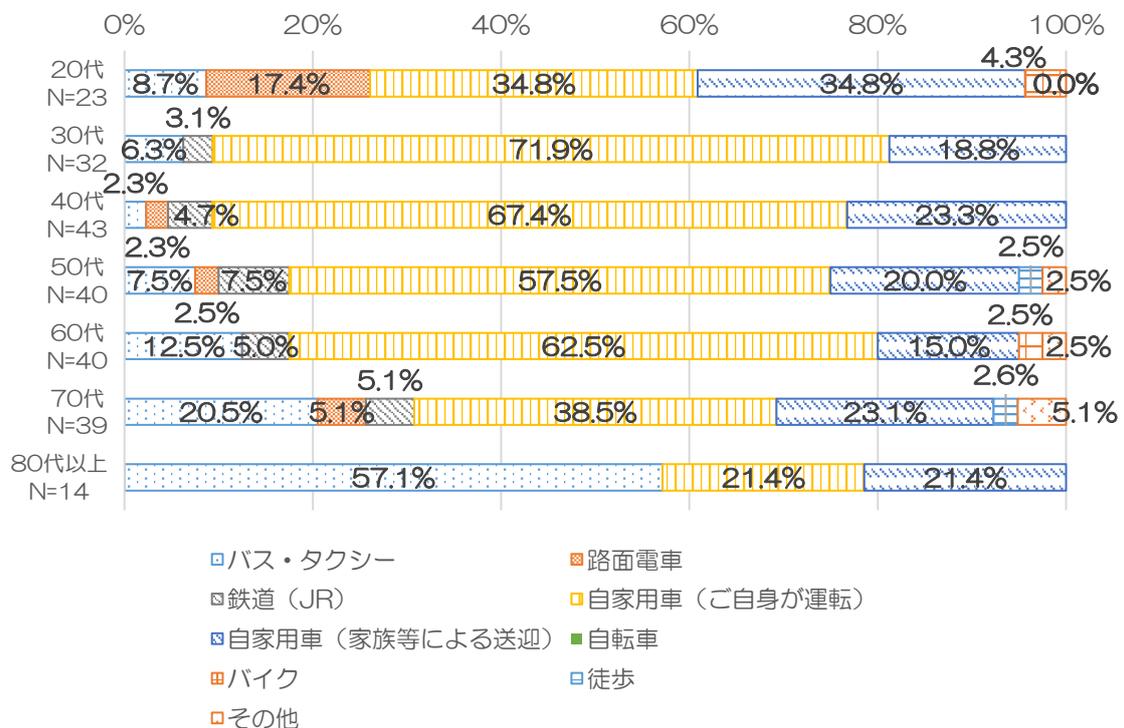
【食料品・日用品などの買物】



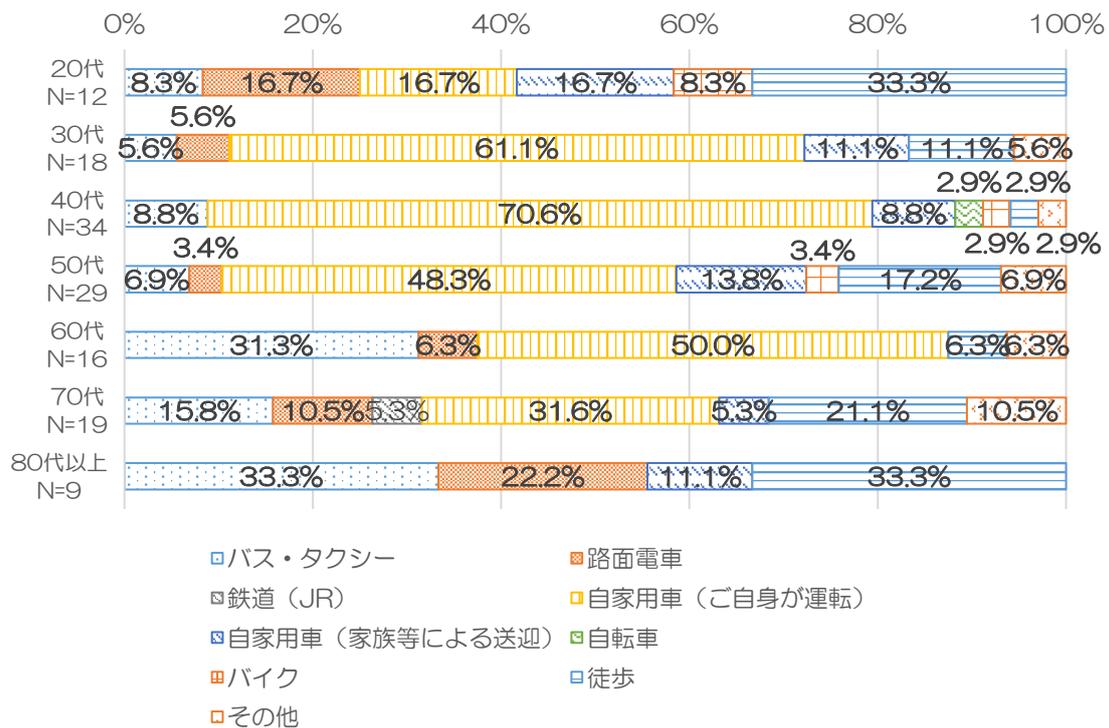
【通院】



【観光・行楽・レジャー】



【塾・習い事・学習】



バス・タクシーや路面電車、鉄道（JR）といった公共交通機関の利用は、「通勤・通学」（29.6%）が最も多く、次に「通院」（22.5%）に多いことがわかりました。また、自家用車の利用は、「観光・行楽・レジャー」（76.1%）が最も多く、次に「食料品・日用品などの買い物」（64.2%）に多いことがわかりました。

さらに年代別に見ると20～50代は、「通勤・通学」の際に公共交通機関を最も利用しており、60代以降の世代は、「通院」や「観光・行楽・レジャー」、「塾・習い事・学習」の際に公共交通機関の利用が多いことがわかりました。

問 11 あなたの外出頻度を教えてください。
 (それぞれ当てはまるもの1つ回答)

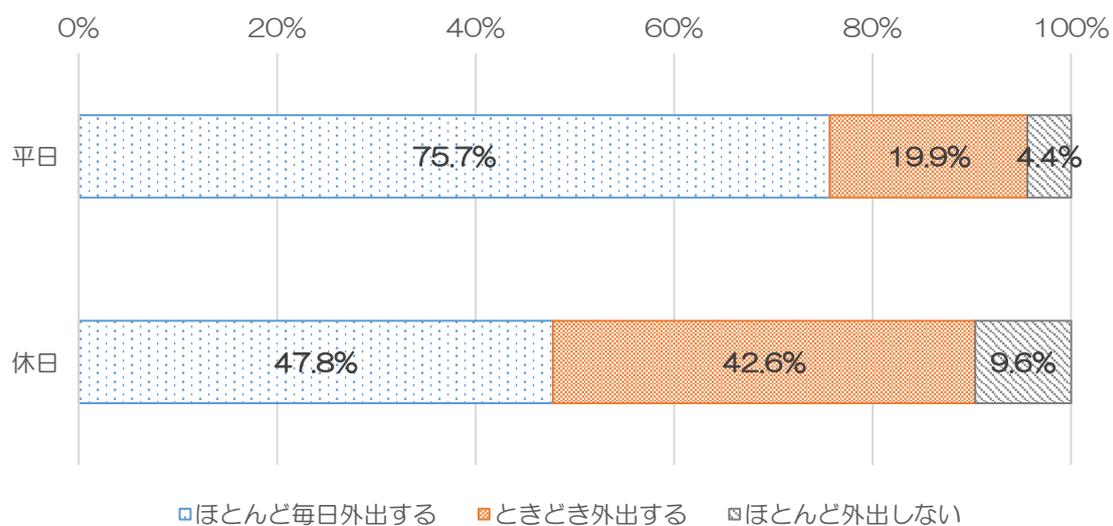
【平日】

選択肢	回答者数	割合
ほとんど毎日外出する	190	75.7%
ときどき外出する	50	19.9%
ほとんど外出しない	11	4.4%
合計	251	100.0%

【休日】

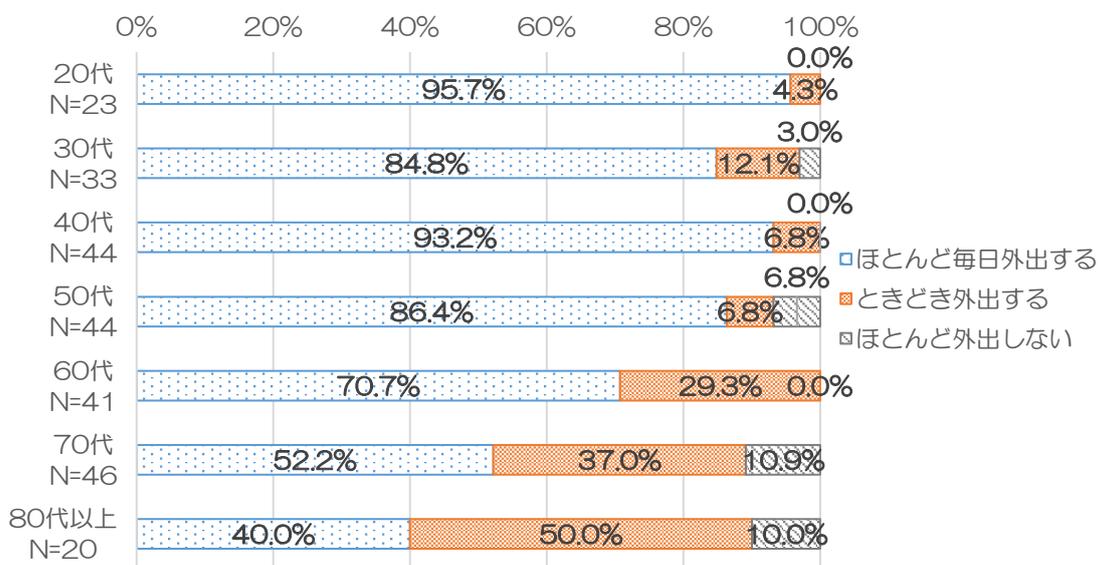
選択肢	回答者数	割合
ほとんど毎日外出する	119	47.8%
ときどき外出する	106	42.6%
ほとんど外出しない	24	9.6%
合計	249	100.0%

(無回答2人)

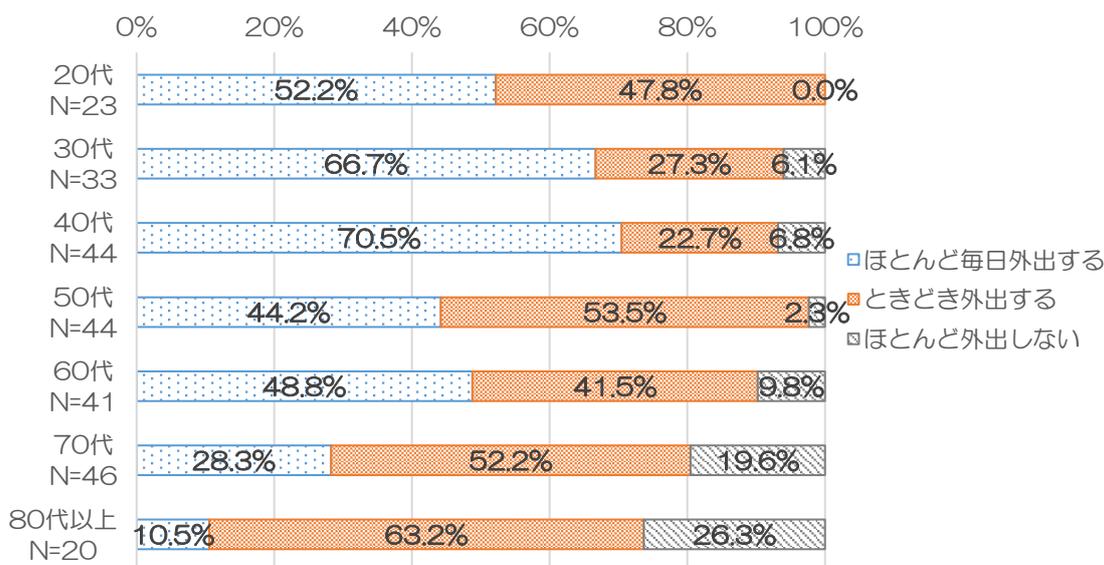


(年代別割合)

【平日】



【休日】



平日の外出頻度は、年代が上がるごとに減少していく傾向があることがわかりました。一方、休日の外出頻度は、20代よりも30～40代の外出頻度が高く、50代以降は年代が上がることに減少していく傾向があることがわかりました。

問 12 長崎市の賑わいや活力を持続・発展するために、次の取組みがどれくらい重要と感じるかを教えてください。

(それぞれ当てはまるものを1つ回答)

【公共交通機関などの日常生活の移動の足の確保】

選択肢	回答者数	割合
とても重要と思う	199 人	79.6%
やや重要と思う	47 人	18.8%
あまり重要と思わない	4 人	1.6%
全く重要と思わない	0 人	0.0%
合計	250 人	100.0%

(無回答 1 人)

【道路交通網の整備など車の移動円滑化】

選択肢	回答者数	割合
とても重要と思う	191 人	76.7%
やや重要と思う	53 人	21.3%
あまり重要と思わない	5 人	2.0%
全く重要と思わない	0 人	0.0%
合計	249 人	100.0%

(無回答 2 人)

【商業施設などの生活サービス施設の確保】

選択肢	回答者数	割合
とても重要と思う	181 人	72.7%
やや重要と思う	58 人	23.3%
あまり重要と思わない	9 人	3.6%
全く重要と思わない	1 人	0.4%
合計	249 人	100.0%

(無回答 1 人)

【中心市街地における回遊環境の整備や滞在時間を増加させる取組み】

選択肢	回答者数	割合
とても重要と思う	144 人	58.3%
やや重要と思う	78 人	31.6%
あまり重要と思わない	24 人	9.7%
全く重要と思わない	1 人	0.4%
合計	247 人	100.0%

(無回答 4 人)

【道路や公園、公共交通機関などのバリアフリーやユニバーサルデザインの推進】

選択肢	回答者数	割合
とても重要と思う	156 人	62.7%
やや重要と思う	83 人	33.3%
あまり重要と思わない	10 人	4.0%
全く重要と思わない	人	0.0%
合計	249 人	100.0%

(無回答 2 人)

【歩道や公園に芝生や飲食施設、ベンチを設置するなど公共空間の多目的な活用】

選択肢	回答者数	割合
とても重要と思う	130 人	52.2%
やや重要と思う	85 人	34.1%
あまり重要と思わない	33 人	13.3%
全く重要と思わない	1 人	0.4%
合計	249 人	100.0%

(無回答 2 人)

【空き家や空き地の活用】

選択肢	回答者数	割合
とても重要と思う	150 人	60.2%
やや重要と思う	73 人	29.3%
あまり重要と思わない	24 人	9.6%
全く重要と思わない	2 人	0.8%
合計	249 人	100.0%

(無回答 2 人)

【観光客などの周遊促進】

選択肢	回答者数	割合
とても重要と思う	145 人	58.0%
やや重要と思う	81 人	32.4%
あまり重要と思わない	23 人	9.2%
全く重要と思わない	1 人	0.4%
合計	250 人	100.0%

(無回答 1 人)

【企業誘致】

選択肢	回答者数	割合
とても重要と思う	173 人	69.5%
やや重要と思う	59 人	23.7%
あまり重要と思わない	17 人	6.8%
全く重要と思わない	人	0.0%
合計	249 人	100.0%

(無回答 2 人)

【歴史・文化を守り活用】

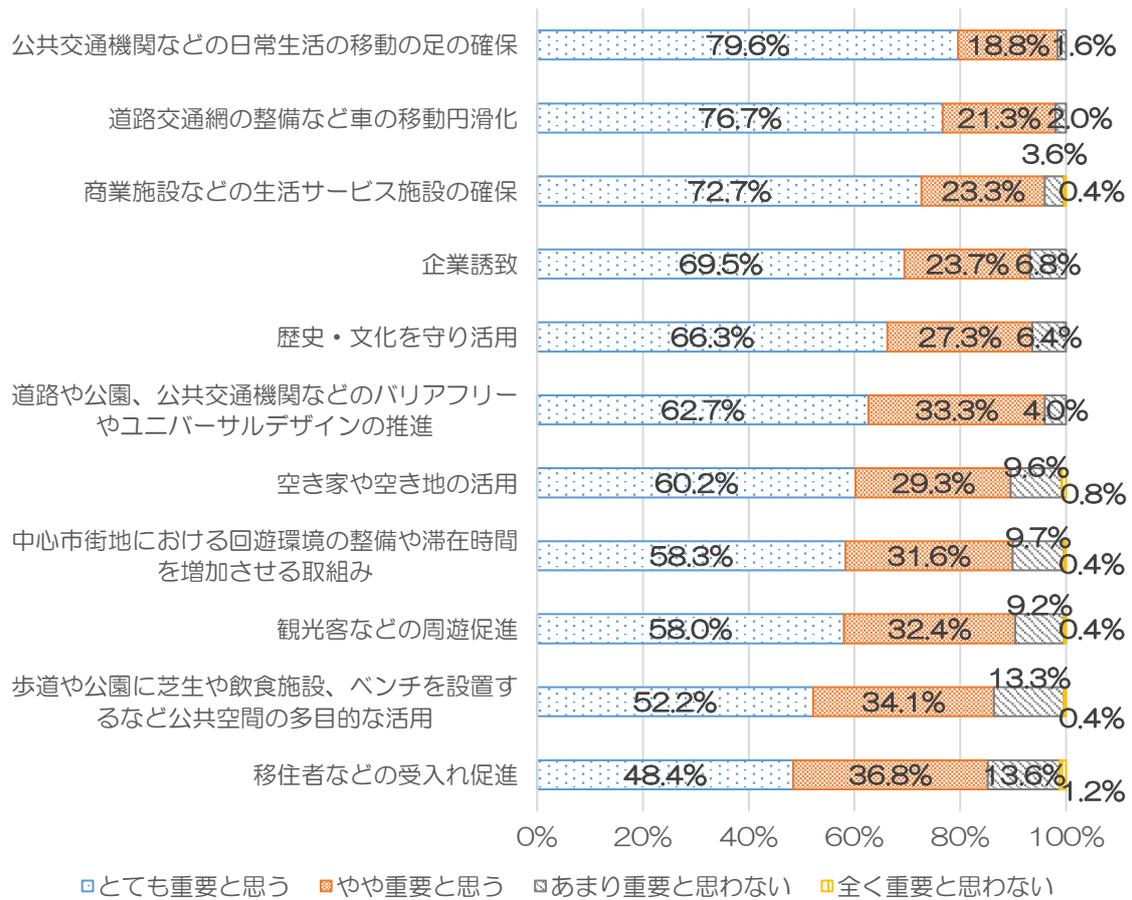
選択肢	回答者数	割合
とても重要と思う	165 人	66.3%
やや重要と思う	68 人	27.3%
あまり重要と思わない	16 人	6.4%
全く重要と思わない	人	0.0%
合計	249 人	100.0%

(無回答 2 人)

【移住者などの受入れ促進】

選択肢	回答者数	割合
とても重要と思う	121 人	48.4%
やや重要と思う	92 人	36.8%
あまり重要と思わない	34 人	13.6%
全く重要と思わない	3 人	1.2%
合計	250 人	100.0%

(無回答 1 人)



賑わいや活力を持続・発展するための取組みとして、とても重要と思うの割合で見ると、特に「公共交通機関などの移動の足の確保」（79.6%）や「道路交通網の整備など車の移動円滑化」（76.7%）、「生活サービス施設の確保」（72.7%）の順に高く、都市基盤に関することを重要視されている方が多いことがわかりました。

問 21 どのような取組みがあれば、あなたは外出したくなりますか。

【20代】

- 路面電車無料 day などは外に出る気力を促進するものだと思った。祭り事や催事に興味が出やすい。子どもが行きたくなることで、家族で出かける機会を創出。
- バス、路面電車の無償化。
- 公共交通機関の利便性、住んでいる近くに楽しめる施設がある。
- 定期的なイベント開催。
- 公共交通機関が増える（選択肢あるいは本数）と飲み会や商業施設へ行くハードルが下がると思います。（結果的に外出したくなる。）
- 昨年、取組みがあったバスの無料 Day あったら、また外出したくなります。
- 洋服等の若者が行きたくなるようなポップアップが土日だけでなく平日でも開催される。
- 商業施設駐車場無料化
- 興味のあるイベントなどがあると外出しようと思います。
- 通勤にバスを利用しています。近年路線見直しということで、バスの本数がとても減りました。長時間バスが無いときは、30分ほど歩いて大通りのバス停まで行ったり、自費で県営バスに乗ったりしています。長崎バスと県営バスの両方に同じ通勤定期券で乗車できればとても助かります。
- 何か楽しそうなイベントがあれば。
- もっと多くの音楽野外フェス・若者人気のアーティストのライブを開催したら若者も楽しい街になると思います。
- 本屋が増えれば外出する。
- 県内にない店が出店するイベント、遊園地。
- 公共交通機関の利便性向上・タクシーチケット配布。
- 公共交通機関の充実化。バスの本数が場所によっては非常に少なく感じます。そうなってくるとその方面への足が向きにくくなるので、1日+1本でもいいので増やしていただくと利便性が上がり、出かけたくなるかと思います。食事処の増加。街なかに気軽に入れる飲食店が少ないなと感じます。また、ひとりでも入りやすい飲食店が増えれば行動しやすいです。

【30代】

- 諫早市と長崎市、長与、時津のイベントや交流が少ないのもっとあっていいと思います。コンパクトシティを進めているわりに長与や時津、諫早に人口が流出しています。
- 車の渋滞の緩和。
- あまりお金がかからずに楽しめる取組。

- イベント開催→車移動が多いので駐車場無料 or 固定料金他、今のようなバス無料デーなどイベント時にあるといい。
- 子連れでの外出がもっとしやすくなってほしいと思います。
- 遊べる施設があれば。あと、おいしい食事。
- 室内の遊び場。(子供だけでなく、大人やカップルなども楽しめるもの。)
- 平日のバス・電車無料デー。
- 駐車場があり道路が混みにくい場所、食事、買い物がまとめて出来る所。
- 子供と遊ぶ施設の充実や遊べるイベント。
- 散歩や軽い運動ができる広い公園が徒歩圏内にあると外出頻度は増えると思う。
- 子供が小さいので、子供と一緒に楽しめる場所があれば外出したいと思う。
- 子どもたちが楽しめるイベントや、新たにできる長崎スタジアムシティでのイベントなどが多くあれば外出したいと思います。
- 町を使っのてのコラボイベント(例として以前、佐賀県唐津市でアニメコラボスタンプラリーがありました。)
- 小学生、幼児の子供がいる家庭が参加しやすい遊具や昔のおもちゃなどで遊べるイベントを週末に開催(駐車場にお金がかからない場所、もしくは対象者には割引などあるといい。)。長崎諫早出身のふくちゃんさんのブログにはお出かけ情報が随時更新されているので拝見しています。YouTubeの活用(空き家のリフォームをビフォーアフターをアップする。景観が素敵な所ばかりなので、夕日が映える外海地区、風力発電と青空がジブリのような千々方面、佐世保のエヴァのような景観などなどのドライブをしながら道の尾駅があったり、美味しい地元の野菜販売などを教える。)
- 以前愛知県に住んでいたのですが、愛知県には子連れで週末遊びに行くのに、ちょうどいい大きな公園(小規模の遊園地のような場所で食べ物や飲み物も現地で調達できるような)がたくさんあり、いいなあと思っていました。長崎は子供を連れて遊びに行くところが市内にあまりなくて、赤ちゃん用品を取り扱うお店も少ないので不便さを感じてしまいます。子連れで出かける場所があれば、もっと外出したくなります。
- 公共交通機関の充実。
- 県外への交通手段の充実、特に西九州新幹線の完全新幹線化。
- 屋外ライブイベントなど。
- 車での移動の際に駐車場に停めるのに時間がかかる。混み過ぎ。特に大きい商業施設。周辺のコインパーキングは利用料金が高い。都市部のように大形の地下駐車場があれば駐車場問題も解決できるかもしれませんがそのあたりは地権や維持・開発費の問題があり厳しいのかもしれませんがもう少し町がコンパクトになればと思います。もう少し様々なイベントがあれば興味を持って参加できるかも。会社の同僚や趣味仲間と出掛けられるイベントが色々あると楽しめ

るかもしれない。今スポーツが盛り上がっているのでサッカーやバスケットのみならず様々な運動を体験出来る機会があれば外出する機会も増えるのではないかと考えます。

- 休日は子供を中心に動くので、子供の興味をひくイベントなどがあれば外出します。
- 駐車場料金を下げるまたは無料にしてほしい。出島メッセ等、市内の主要地域は駐車場の料金設定が高いので、ふらっと行こうと思えない。市役所の駐車場料金も割高なので、市役所に用がある時でも、周辺の民間駐車場に止めている。
- 子供が室内で遊べる商業施設が電車通りにできると嬉しい。
- 低価格で遊べる子供向きのイベント、魚釣り体験など。
- 浜の町の都市開発、子供が遊べる場所がほしい。

【40代】

- バスの台数が増える、料金が安くなる。物価が下がる。扶養年収のUP。賃金UP。
- イベント 新しい商業施設。
- 中心地で行うイベントではなく郊外の町（行った事のない町）で開催される面白そうなイベントがあれば行ってみたい。
- 昨年度実施されたバス・路面電車無料ディと同等のサービスが一家族千円程度で好きな時に受けられること。また、サービス利用時に施設等で優待があること。
- 交通機関の利便性、バス停がとにかく遠い
- あまり道路が混まずに行き来ができて体験型の施設が増えると親子で外出したいです。
- 子育て世代にスポットを当てた場所や取組みがあれば。
- 車での移動が必須などで（バス停まで徒歩30分）バスの1日無料のように公共の駐車場等1日格安で駐車出来る様にしてもらえれば浜の町等に行きやすくなると思います。
- 歩いた分だけ・公共交通機関を利用した分など ドリンク、日用雑貨とかちょっとしたご褒美があれば外出がもっとしたくなります。
- アウトドア好きなので、キャンプが身近にできる場所が出来たらなぁと思います。（オートキャンプ場）最近、あぐりの丘にキャンプサイトが出来ましたが、金額が高すぎていつも諫早の結の浜や西海市の元気村の方に行くのが現状です。
- サブカルチャー（アニメ・映画）等が楽しめる。物価が安くなる（ガソリン代）。

- 気軽に駐車ができる取組み、土地・交通の問題は多くあるが、人同士の触れ合い、災害時への備え、思いやり、狭い長崎ではあるが、もっとゆとりを大切にしたい町、街暮らしを求めます。
- 外出が全てではない。長崎に住むメリットを考える必要がある。
- 無料バスなどの時は、便を増やす。バスの数を増やすなど。
- 中心市街地以外で立体駐車場（屋内）がある商業施設ができれば、雨や猛暑でも外出したくなる。※駐車場は無料または、安価が良い。
- 渋滞緩和できたら。
- 入場など渋滞せず楽しめるイベントなど。
- 余暇娯楽施設の充実
- 子供から大人まで楽しめる商業施設があると嬉しいです。あと、中途半端な規模ではなく大型のコストコなどがあると嬉しいです。テーマパークも、アトラクションに特化した所が欲しいです。また、誰でも参加出来るイベントも欲しいです。
- 雨の日、猛暑の日であっても、色々な体験、アミューズメントがある施設が出来たり、美術館が県美以外にもあったり、出島メッセは子供向けのイベントが多いイメージがあるので、大人向けのイベントがあると良いと思います。
- ライブなどイベント。
- 新しい事を取り入れて（店や施設）。若者から高齢者までが楽しく元気になるような町づくり。いろんな企業がまちづくりのための提案をし、活性化に繋がるような取り組み。
- 交通渋滞の緩和です。
- もっと商業施設やアミューズメント施設や子供達が楽しく遊べたりする場所が増えたらいいかなと思います。あと価格帯も安くて気軽に行ける所なら嬉しいです。
- 子どもが安全に長時間楽しめて、かつ大人も見守りが大変（暑い寒い等・高額）ではないイベント
- 道路の渋滞が緩和されたり、十分な駐車場が確保されている場合。
- 平日でもイベントをやってる。
- 家族で過ごしやすい環境（飲食店を含めて）が整えばと思う。新しくアミュプラザができたが、私にはあまり魅力を感じない。
- マルシェなどのイベント、公共交通機関の無料デー、駐車場無料デー。
- 長崎市はどこに行くにも必ず駐車場不足問題が出てくるので、余裕をもって車を止められるスペースの駐車場が必要だと思う。長崎の地形上、広い土地がないから仕方がないその他の県に比べて浜の町、夢彩都、アミュプラザ、ココウォークなど施設がある地域が分散しすぎていると思うので、そういった施設がもう少し近くに纏まれば外出もしやすくなると思う。

- 子供がいるので親子で楽しめる場所があれば嬉しいです。最近暑さがひどいので、夏場は遊ぶとこで困っています。あぐりドームのような全天候型な施設がもう少しあれば嬉しいです。
- 無料の駐車場が用意されているウォーキングコースや、運動公園があれば外出したいです。
- 水辺の森公園が好きですが、駐車場が少ないし、料金がかかるので気軽に行けません。また、40分100円のパーキングが増えたら、浜の町周辺の活性化に繋がると思います。
- 県内各地域のグルメ、特産品、温泉など紹介し、指定期間内に何箇所訪れたかで特典をプレゼントするような催し。
- 好きなアーティスト等のイベント。

【50代】

- 行政が手の届かない清掃活動（道路歩道等の草むしりなど）に参加した方へ、市役所レストランの1回食事券（無料）を渡すなど、何らかの地域貢献をしたい欲求はこの年代はあると思います。
- チャリティーコンサート、イベント等。
- ちょこっとした休憩場所がたくさんあると良い、横断歩道を待っている所に暑さ対策のためのパラソルがあると良い（韓国にある）。
- 季節によるお祭りなど お花見・花火・お茶・あじさい・桜・紅葉など・・・のお祭り。
- 足が不自由（杖使用）なので、玄関の前から車に乗ることができるなら、外出したくなる。
- 特にこれといってない。
- 1カ所集中のイベントもいいが、エリアごとに趣向を変えたイベントをして周遊して楽しむイベントもよいと思う。長崎さるくはとてもおもしろかった。
- 魅力的なイベントの開催。
- お金を使わなくても楽しめる、激安スーパー（大型）、フリーマーケット。
- スタジアムシティの開業にあたり、市としても力を入れて取りくみをお願いしたいです。子供、老人も観戦に行ける様な色々な（無料招待等）アイデアを検討お願いします。
- みんなが楽しめたり、参加できる様なお祭や行事がもっとあればいいと思います。
- 幅広いカルチャーの受入れと拡充。
- 交通機関、商業施設などの充実。
- 公共交通機関が今年度から便数・路線も減ったため外出先が変わったので元に戻して欲しい。
- 犬と安心して遊べる環境が欲しい。

- 演劇や舞台、ミュージカルなど長崎市内でも数多く楽しめるようにしてもらいたい。
- 買い物もできるが休める場所もある程度あると良い。家族でそれぞれ目的が違って、休める場所（ベンチなど）で待ち合わせができる。おひとりさまでも楽しめる。
- 歩道がキレイで健康のために散歩に出たくなるような街であること。公園などの休憩する場所が充実していること。
- 全世代が楽しめるイベントの開催、共なう公共交通の臨時増発があれば。
- 親子で楽しめる施設。
- 市民割引付きや無料施設の利用。文化人や有名アスリートのイベント。
- 割引チケットなどがあれば嬉しい。イベントや新しいお店または昔ながらのお店のリニューアルなどの情報が携帯から手軽に見れる。
- バスや電車などの交通機関の内装がオシャレ。
- 地産地消をもっとアピールできる道の駅を充実。
- 外出したくなるにはその目的とそこに行くための手段があってはじめて行動に移す気が起こるものなのでそのための取り組みは多岐にわたるのではないか。目的の一つとして長崎くんちをはじめとしたイベントの実施があげられるがコロナ禍によって縮小・廃止となったイベント（地域に根差した祭り？ペーロン大会？）もかなりあると思う。また市主導のイベントや企画についても経費削減の名のもとに廃止されたものも相当数あるのではないか、官民一体とは名ばかりに民間がほぼボランティア並みに協力してきたものについても結局は民間任せになり民間の体力をすり減らし縮小・廃止したものもある。そうしたものを復活・再興するためには行政側の情熱は必要不可欠でありそのモチベーションを取り戻してほしいと切に願う。一方でまた既存のイベント・企画ばかりではなく新たな取り組みなどにも支援とサポートが必要と思う。ハコモノに頼らない刺激を年間を通して創り出していく必要があるように思う。一方で手段についてだが、現在は車での移動ができる年齢なので何かあれば自分で移動が可能だが年齢が高くなるにつれ今の公共交通機関並みであれば外出はしなくなるしできなくなるでしょう。一般的にコンパクトシティ化によってそうした問題を解決していこうとの意見もあるが長崎のような地形と人口分布では絵に描いた餅でしかない、できるとすれば中心市街地のみであるし中心部ではほぼ達成できている。問題は周辺地域の活性化と移動手段の未来化であるように思う。移動手段の未来化とはすなわち路面電車の延長が理想的ではあるが現実的ではない。ではそれに代わる手段として自動運転による電動車による公共交通機関を周辺地域へ配備していくことが考えられる。その際、順次内燃機関によるバス移動と置き換えていく。もちろん事は簡単ではないので三菱など大手企業との共同研究や一部地域（東長崎地区？）先行など国を巻き込んだ特区構想など活用しながら高齢化にも対応できる長期の取り組みにチャレンジしていく

必要があるのではないか。百年に一度どころか 200 年 300 年先を見越した真に住民にやさしいまちづくりにチャレンジしてもらいたいものである。”

- 県内を電車やバスで遠出する際の乗り継ぎがよくない。都心は他路線であっても乗り継ぎがきちんと考慮されてるので、その辺りがされれば。
- 道が混まないような工夫。難しいとは思いますが、ひどく混んでると出かけにくくなる。車が多くても流れるようならいいのですが。
- 交通手段の充実、イベント。
- 交通機関の確保。休みの移動の時交通機関を利用したいが、便数が減って移動しづらいので、自ずとと外に出たくなくなる。
- ワクワクする激安売りイベントがあればぜひ見に出かけたい。
- イベントやボランティア活動の告知をわかりやすくしてもらえると外出が増えると思う。また高齢者へのバスを無料にして外出機会を増やして欲しい。
- 特になし。
- 自然が保護された緑地や海浜公園などが整備されていること、特に海の豊かな特色を活かした整備事業を促進していただけると、外出機会が増えるかと思えます。
- 坂、階段ばかりで住宅地の道路整備が行われて無いので外出しにくい。・公共交通機関の充実。バス停、電停には遠くて行けない方が多くなるので。(バス、電車では無く、坂・階段ばかりなので乗り合いタクシー等を充実させる)
- 魅力ある町づくり。市内からも、市外からも訪れたいような。食文化を歴史ある街並みとコラボしてつくりあげる。そのためには、人も必要。
- 若い人達が働ける場所、企業を増やしてやらないと、若い人達はどんどん流出して行って、長崎市の人口は減少するばかりだ。あと、Uターン、Iターンを増やしていくことも大事。全国的に問題になっている、空き家対策も行政と民間企業とが一緒になって取り組まないといけない。例えば、埼玉県なんかは、住まいづくり協議会をつくって空き家対策などに取り組んでいる。
- 魅力的なイベント開催。例えば無料でいろんな体験が出来たり、スポーツイベントや食、お酒のイベントなど。また、長崎は駐車場が高く少ないので、商業施設、若しくは近隣に安価で広い駐車スペースを確保してほしい。そのためには渋滞緩和策を講じなければならないが、せっかく 10 月にスタジアムシティを開業するので近隣道路をもっと整備してほしいと思う。住んでいる家の前は平日の昼間以外は常に渋滞しているイメージなので、渋滞がなければもっと出かけるのになと思っています。

【60代】

- 魅力的な商業施設やアミューズメントパークなどを開発していただければと思います（スタジアム・シティーに期待。）。

- 長崎は観光地ではあるが、地元の人達が楽しめる施設が不足していると思います。コストコ・イケア等、大型施設の誘致をお願いしたい。
- 日本全国の物産展イベント。
- 健康教室など夫婦で参加できる取組みが安価であると外出したくなります
- お金かからずとも楽しめる様なイベント。人と人とのつながれる場所。
- 退職し時間は出来たが、60歳台~の層を対象としたセミナー的なものが（月2回~週1ペース）色々と選択できる場を公的施設で設けて頂ければ嬉しいです。
- 市民大清掃の数を増やす。
- スポーツイベント。
- イベント・祭り。
- 暑さが回避出来る場所が多ければ外出したくなる。
- 何か催し物がある場合、確実に駐車場の確保ができれば外出したいと思います。まだ主人が車の運転をするので、あまりバス等は利用しないので。もしも駐車場が無かったら、まずそれを捜さないといけないので大変のような気がします。臨時駐車場でもあれば大変ありがたいです。
- 物産展や人生に役立ったり、向上心を持たせる講演会などあれば参加したいし、ワクワクする様なイベントがあれば外出したくなる。
- 公共交通費の金額の見直し、（新幹線、JR、飛行機）ライブイベント、レジャー施設が多くあったら良いと思う。
- 自由に過ごせる空間。
- 艦艇（日本の）を見たいので、そういう見学出来る催しをしてほしい。
- いろんなタイプのイベント、野外、室内、観劇、コンサート。
- バスの便数が減少したことで外出は控えている。乗車時間が短くてもバスは混雑するので、高齢の方には不自由、便数を増やしてほしい。
- イベントとかお祭りなどがあったら行きたいです。
- 祭り・イベント。
- 普段見ることが出来ない物が来た時や美しいものが物産展など来た時など興味を持つものがあると外出したくなる。
- 個人的な趣味となりますが、音楽フェスやコンサートなど、多彩なスケジュールが組まれていれば（ライブハウス、コンサート会場など）予定を合わせて出かけたなと思います。
- 現在移動するのにマイカーを使うので、不便は全く感じていません。ただ、もっと高齢になり、この後運転免許証を返納した後はどうなるか、とても不安です。交通手段は、バスが一番近い乗り物なので、バスに頼りますが、便数が減ると困ります。バスの便数は現状維持でお願いしたいと思います。
- 大規模な商業施設があれば外出したくなる。

- 市内の駐車場をもっと充実させ、買い物や施設使用時の駐車料金を無料化もしくは、割引するなどの対策をとってほしいと考えます。特に公営駐車場の駐車料金が高く感じます。一部の大型商業施設では駐車料金が無料になる仕組みがあるので、車での移動が多い人々はそのような施設を選ぶしかありません。
- 美術館や歴史博物館などへは交通アクセスの利便性を充実するなどの対策を強化して頂ければ、もっと外出の頻度が向上すると思います。また、路面電車周辺の施設は利便性が良いものの、それ以外はバス等での移動となるので、もっとコミュニティバスなどで利便性を高めてほしいです。
- 公共交通機関が無料の時は外出したいし、観光地が市民無料デーなどあれば、行きたいと思う。美術館、博物館の催しが興味深いものが来たら見に行きたいです。”
- STADIUM CITY の開業が起爆剤になると思われる。水辺の森、出島メッセ、アミュ、ココウォーク、STADIM CITY の充実。とりあえず長崎駅前に出かけたら、周辺で必要な物やワクワクする楽しみが得られるような。
- バスの便を増やして欲しい。最終便の時間を遅くして欲しい。

【70代】

- 乗換えなしで市内どこでも行ける循環バスがあればいいかな。
- 混雑緩和。
- 歴史探訪など誰でも気軽に楽しめる講座とか、隣国カンコク、中国との交流関係を楽しめるイベントとか。(国際交流)長崎とのゆかりのある食生活を学べるイベントとか楽しめるもの。
- 現在、パート勤務であり特に問題ありません。
- 私の生活環境から見て中心街の美化が進んでないように感じます。例えば緑が少ない。電線の混雑。路面電車のラッピングのセンス。空き店舗が多い。煙草のポイ捨て。歩き煙草。等きれいになったらどんなに誇らしく思います。又楽しく暮らす為にいつも笑顔でいるように努め助け合いの精神を忘れずにし、気安く気軽に立ち寄れる、平場で情報発信できる場所が有れば場元住民のみならず観光客にも楽しんで頂け、人に親切な街作りと温かい長崎人になるような気がします。長くなってすいません。親切な人は身近に居ます。
- 特になし
- 交通（バス・電車等）無料の日は街も人出が多かったと思います。今日はバス代が無料なので〇〇へ行ってみようと思ってという声を多く耳にしました。
- 美味しい魚類,野菜,その他食料品の販売会等あれば。
- 自然にふれられる場所が近くにでき交通の便がよくなる。
- ベンチを増やしてほしい。
- 商業施設やアーケードなどに疲れた時に一寸休めるベンチなどがあると安心して出かけられる。

- イベント等の催し物。
- 高齢になると、坂道・階段がおっくうになります。平道の家が羨ましいです。
- 高齢者でも気楽に参加しやすい場所、プログラムがあったらと思います。広報誌などで参加を教えて欲しい。
- 生活道路に小型バスを通して欲しい。今のバス停まで遠い。
- 高齢者への交通費の助成をふやして欲しい。
- 現在、車の運転を行っているが、運転が出来なくなった時、交通手段であるバスの便が少なく、外出の機会が少なくなると考えられる。
- バーゲンが始まった。美術館や映画館に見たいものがきた。朝からいいお天気。(自然現象ですが)
- 公共交通の便がやや不十分と感じております。若干、便数の増加等の取組をもう少し考えてほしいと思います。
- スポーツイベント。
- 海や山に関してイベントがあれば出かけたくくなります。また、おくんちは心がウキウキしてとても楽しくなります。(大人から子供たちの頑張りにとっても感動します。)
- イベント(野菜、フリーマーケット等)数多く実施して欲しいし又駐車も格安が出来る所を設けてもらいたいです。
- ①地域のおまつり、行事(もちつき、交流会、季節の催し)未来の子供たちに大人(シニアなど)より、昔の遊び体験などを(戦争、原爆とか)交流の中で話し伝えたり。そして、シニアも又、若い人達と触れ合うことで、相互の理解、知恵を伝え合って豊かで生きる喜びを感じ合えるような場があったら良いと思う。原っぱでも、自然に近い場があったら理想ですが。 ②例えば、ふれ合いセンター出はいいりされる大人、子供たちの意見を聞くことも大切だと思います。(子供たちが、どういうことを望んでいるのかを聞く、大人が気づくことも寛容と思います。 ③それに子育てをされている親たちへの小さなサポートをして、少しでも安心ができるようにと思う。大人のためばかりでなく、子供たちも安心して外出できる場が必要だと思います。
- 楽しいイベント。
- 天土商店までを巡回するワゴン車バスがあれば買い物できる。
- 公共交通機関の充実、高齢者向けのダイヤの(主にバス)充実。
- 中心部などで魅力ある施設等がもっと充実し、バス・JRの利便性(行き、帰りの本数増加)が、向上すると外出したくなります。
- 運転出来ない高齢者などへの日帰りバスツアーなどの充実(道の駅や買い物ができる場所など)。
- あまり外出しないのでわからない。
- やらされ感のある取り組みは受け入れられない。机上の計画は、どうもその傾向あり。(参加人数を気にしたり、結果報告に注目)今までの人々(私は)は上

記に慣らされてきた、時間はかかるだろうが規制のゆる〜いイベントが待たれる。

- まず、地域の公園や、公共施設の美しい環境。
- 音楽会、落語、美術展などの開催。
- 自分の興味の有る物があれば。
- 無料イベントなど。

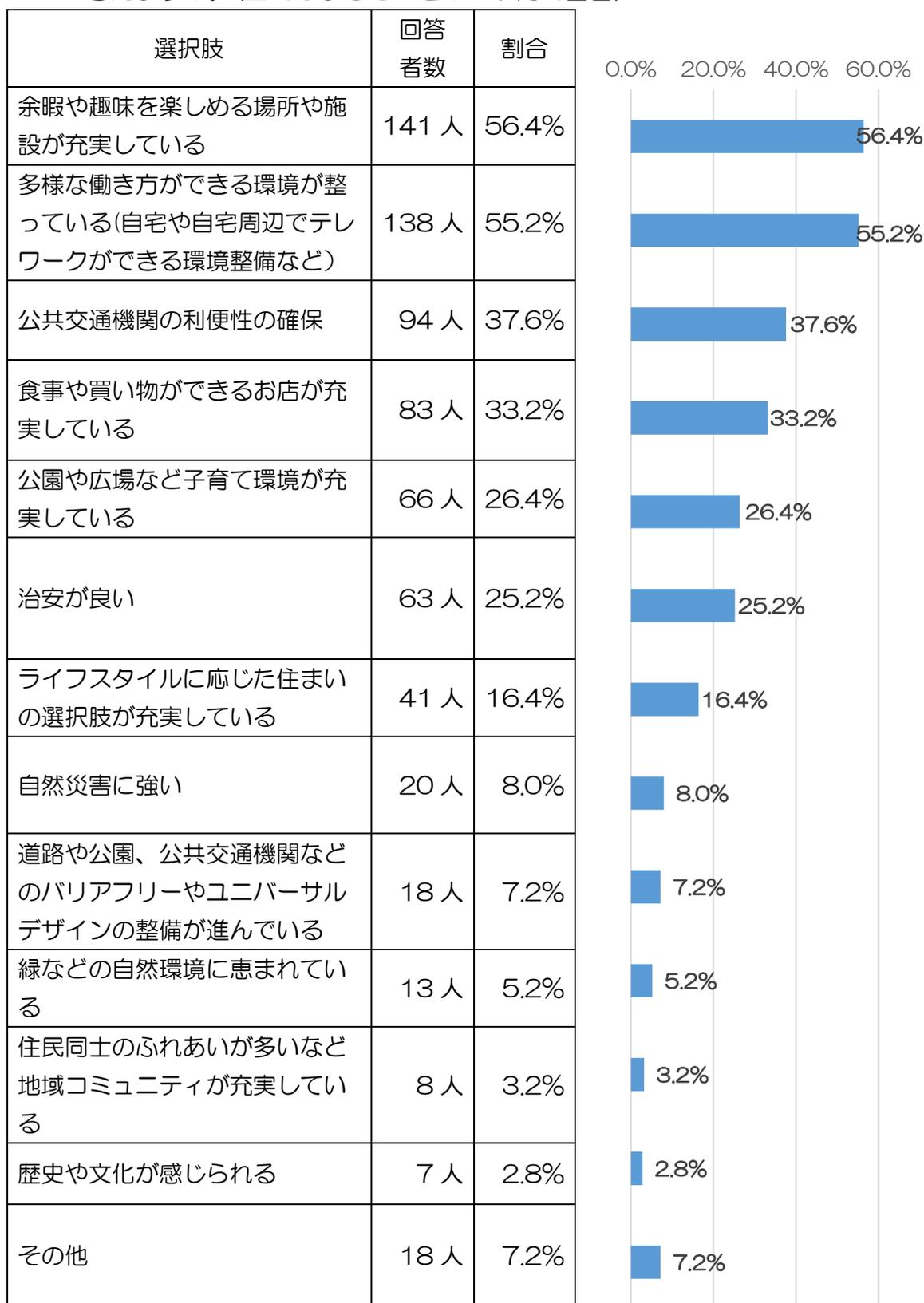
【80代以上】

- バリアフリー。
- 公共交通機関の運賃が値上がりするのが外出を控える・バス等の本数が少なくなっている。
- 長崎ではなかなか見たり聞いたり体験したり出来ない様な催しがある時等。
- ハートセンターのような施設ができて、運動あり、食事あり、童話の読書などできれば楽しく出かけた。時々ハートセンターを利用しています。食事の時懸命に働く方々に感動します。バスで出かけるとおりに歩く距離が長すぎて疲れます。幸歳者が豊に過せたら嬉しいです。
- サッカー場ができたので楽しみ。ぜひサッカーを見たい(今迄テレビだけだったので)
- 伝統芸能の一般公開など。
- 老人会の旅行。
- 足の確保。
- 自分の目的に合った行事があれば参加したいと思う。
- 最近認知症患者数が700万人を超すとして騒がれていますが、実はその2,3倍の数の老年者が私も含めて間欠性跛行(歩行で足がしびれ歩けなくなります)が、短時間の座位での休息で回復し、再び歩行可能となる)の為、外出を諦め、結局、介護漬けになると言われています。然しこれはショッピングセンターに休息用の高座高型ベンチを、例えば50~100m間隔で配置することで防止でき、これらの病人は再び、生活物資の購入等でショッピングセンターに戻って来るでしょう。現時点では長崎市内のどのショッピングセンターにもそのまま設置はありません。但し、今後入港する中国客船の乗船の乗客に占有されない工夫は必要でしょう。
- 高齢者への無料の交通費の増額を希望。格安の旅行(1泊)や、外食時にシニア向けの割引クーポン券(紙の券)があると良い。デイサービスじゃなく、わくわくするような場所が欲しい。
- 通院・買い物・通信・配送など用事がある時
- 催しがある場所に駐車場が無い、有ってもスペースが足りない。長崎市の土地柄駐車場は中々確保出来ないようですが、公共施設に立体駐車場を作るなど努力してもらいたい。

- 公共交通機関の低床化と増便。商業施設の休息場所の確保。
- 老人が行きたい様な所や施設が少ない。又、住吉方面では色々の催しが少ない。やっている公民館は古町（市役所）近辺で北部からは遠い、北公民館は前からの人で新人が入る余地はないよう。
- 乗り合いバスの運行が新しく始まると嬉しい。現在、長崎市矢の平町はすでに実施されている、乗り合いタクシー代300円（バス代は160円）で自宅までタクシーと同じように送ってもらえるとの事。現在はタクシーを使用している事もあるが、乗り合いバスが実施されたら外出が多くなると聞きます。高齢になると車の運転不可、子供は独立、孤独な生活になり認知機能低下になる可能性がある。

全世代共通してニーズに合った魅力的なイベントがあれば外出したくなるという意見が多いことがわかりました。世代ごとに見ると、20代は公共交通機関の無料デーの開催や利便性向上、30~40代の子育て世代については、親子で楽しめる場所や施設があることや駐車場の十分な確保や駐車料金の低廉化、交通渋滞の解消、50代以降は公共交通機関の利便性向上やベンチなどの休憩場所についての言及が多くあることや、イベント開催などの情報が手軽に得られれば、外出したくなるということがわかりました。

問 22 若者が住みたくなるまちとなるためには、どのようなまちづくりが必要と
考えますか。（当てはまるものを3つ以内で回答）



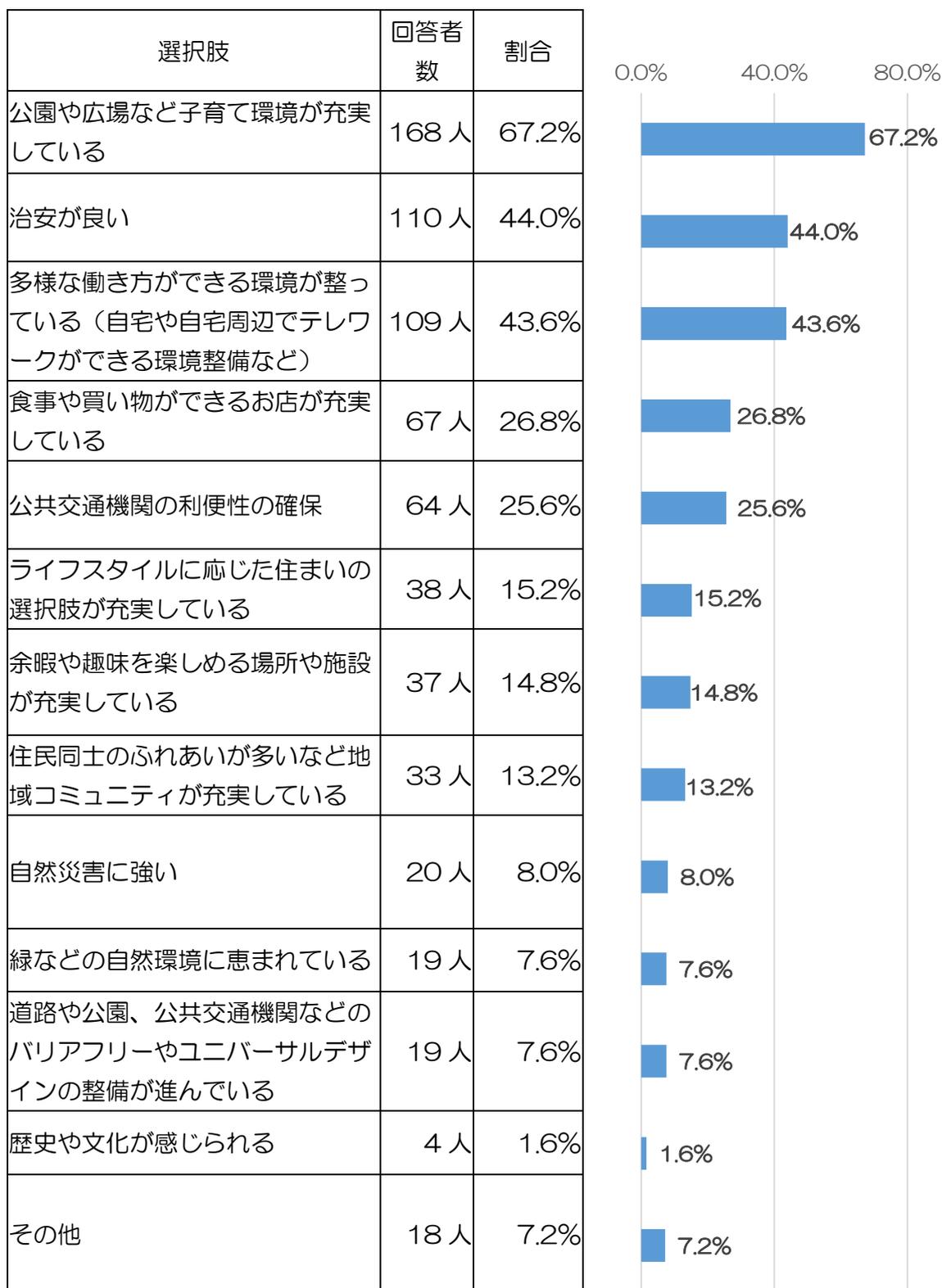
(回答者数 250 人、有効回答数 710)

その他

- 最低賃金ランクB以上
- やりたい仕事がある
- 若者が好む文化を取り入れる
- 自然を生かした施設を作る
- 子供や、子育て世帯への政策ばかりではなく、〈子供向けの施設・イベント〉
2, 3のような都会化が必要だと思う。長崎に住むなら、福岡にすみたい〈一人暮らしをするなら〉
- 賃金が安定している
- 働く企業が必要、企業がなければ住むことにならない。
- 魅力的な企業が多数ある
- 生活費が安い。住宅費、水道光熱費が安価。
- 福岡と同等の待遇が期待できる企業が増え働き口の選択肢が増えること。
- 家賃が安い
- 企業誘致と共稼ぎ可能な育児施設の充実
- 子育て支援が充実している。
- 働き口の確保
- 長崎の土地的な問題で斜面地が多いので、住宅にクルマが止められないところが多い。そのため空き家が目立ち崩壊寸前の家も有る、そのような場所を開拓して土地の有効活用ができれば良い。
- 安定した仕事と収入が得られる職につくことができる
- 複合エンターテインメント施設（ラウンドワンなど）があるといいと思う。
- 職種の多様化

若者が住みたくなるまちとなるためには、「余暇や趣味を楽しめる場所や施設の充実」が56.4%と最も多く、続いて「多様な働き方ができる環境が整っている」が55.2%となり、休日の過ごし方やニーズに合った働き方の実現を重要視されている方が多いことがわかりました。続いて、「公共交通機関の利便性の確保」(37.6%)や「食事や買い物ができるお店の充実」(33.2%)、「公園や広場など子育て環境の充実」(26.4%)といったまちの利便性に関することが重要視されており、若者が住みたくなるまちとなるためには、ニーズに合った過ごし方・働き方の実現と併せてまちの利便性を向上されていくことが重要であることがわかりました。

問 23 子育て世帯が住みたくなるまちとなるためには、どのようなまちづくりが必要と考えますか。（当てはまるものを3つ以内で回答）



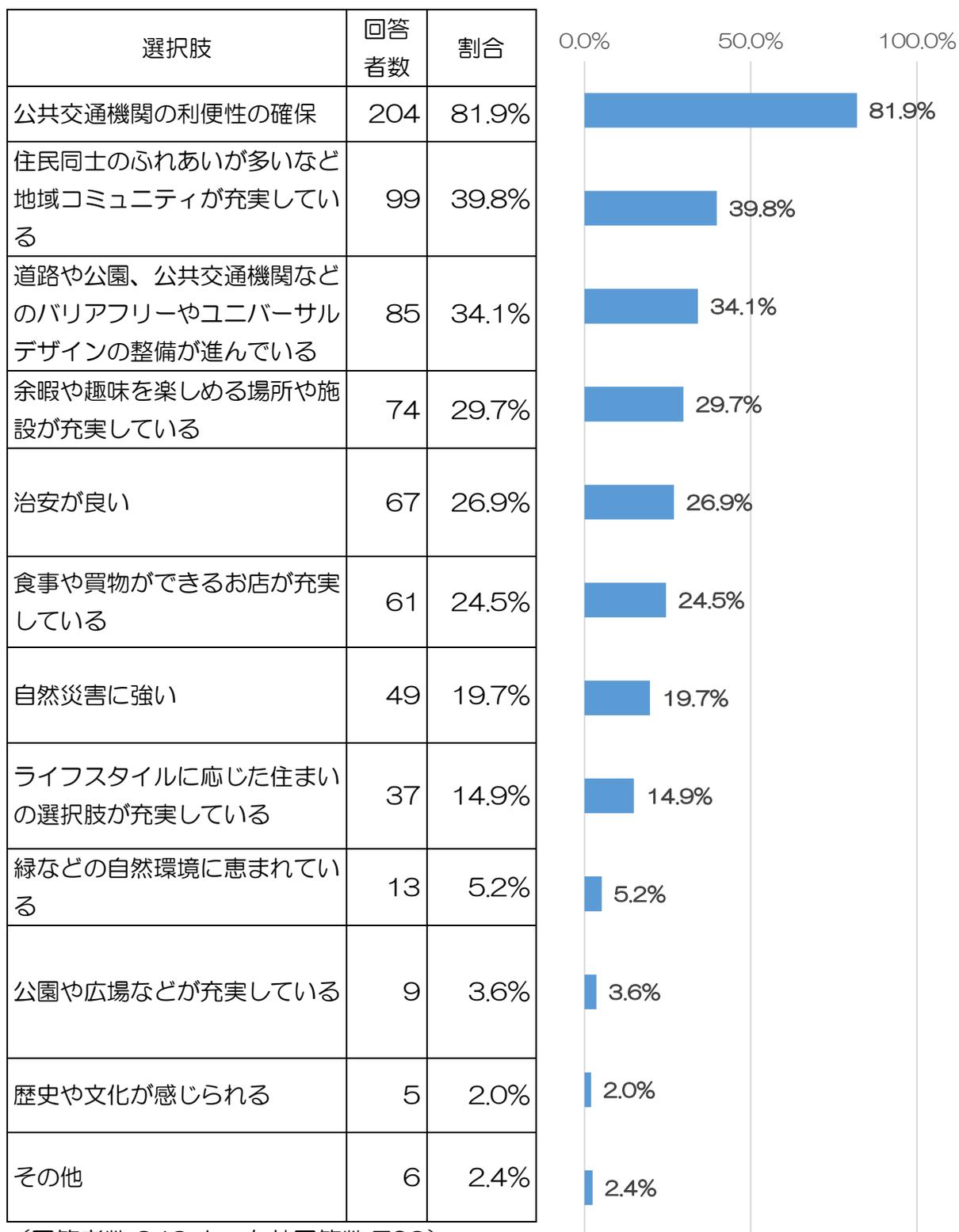
（回答者数 250 人、有効回答数 706）

その他

- 子育てや家族間の悩み事等気安く相談できる部屋又空家をうまく有効活用(オーブンハウス等)
- 保育園などを増やして欲しい。育児に適した環境
- 家賃、土地代の値下げ
- 学習塾や外国語クラス
- 病児保育の充実
- 駐車場など車移動が便利なこと
- 生活費が安い。住宅費、水道光熱費が安価。
- 金銭的な補助、子育てサポート機関、施設
- 企業誘致、共稼ぎ可能な育児施設の充実
- 保育園の充実
- 子育て支援の充実
- 託児所などの子育て支援政策が充実している
- 上記の3番に子育て環境の充実について、様々な施設があるが保護者がその情報を知らないという現実がある。県や市から子どもがいる家庭に向けて子育て支援の情報提供が行われることが重要である
- 子育て世帯への支援、優遇が必要だと思う。
- 明石市の「5つの無料化」のような子育て世帯を支援する取り組みや、不妊治療に対する支援の充実が必要（結婚願望を持つ若者も集まると思う。）
- まずは仕事。子育て世帯への助成
- こどもの城のような屋内で遊べる施設が身近にある
- 育児の各種補助

子育て世帯が住みたくなるまちとなるためには、「公園や広場など子育て環境の充実」が67.2%と最も多く、「治安が良い」が44.0%、「多様な働き方ができる環境が整っている」が43.6%と続き、子育て環境はもちろんワーク・ライフ・バランスを実現するために多様な働き方の実現が重要視されている方が多いことがわかりました。

問 24 高齢者が住みやすく安心して暮らしていくまちとなるためには、どのようなまちづくりが必要と考えますか。（当てはまるものを3つ以内で回答）



（回答者数 249 人、有効回答数 709）

その他

- 世代別に困っている事、悩み事が大きく異なると思う。実態調査が必要と思われる。
- 徒歩圏内で全ての生活がまかなえる環境
- 定年後働ける場所の充実さ
- 車（自家用車）が便利に利用できる環境作り
- お年寄りほど斜面地に住まれている方が多いので、外出する機会への支援、介護サービスなどの充実・自己負担や家族の介護の負担の軽減が必要だと思う。
- 老人への助成

高齢者が住みよく安心して暮らしていくまちとなるためには、「公共交通機関の利便性の確保」が81.9%と突出して多く、多くの方が高齢者の日常生活の移動の足の確保を重視していることがわかりました。